

地域運営学校 活動事例集



平成31年（2019年）3月
八王子市教育委員会

目次

◆掲載校一覧

第一小学校	1	恩方第一小学校	28
第二小学校	2	恩方第二小学校	29
第四小学校	3	元木小学校	30
第五小学校	4	陶鎔小学校	31
いずみの森小中学校	5	上川口小学校	32
第七小学校	6	檜原小学校	33
第九小学校	7	加住小中学校	34
中野北小学校	8	由井第二小学校	35
清水小学校	9	由井第三小学校	36
大和田小学校	10	長沼小学校	37
小宮小学校	11	片倉台小学校	38
高倉小学校	12	高嶺小学校	39
宇津木台小学校	13	浅川小学校	40
横山第一小学校	14	東浅川小学校	41
横山第二小学校	15	由木中央小学校	42
散田小学校	16	由木東小学校	43
長房小学校	17	由木西小学校	44
館小中学校	18	鹿島小学校	45
山田小学校	19	松が谷小学校	46
櫛田小学校	20	中山小学校	47
緑が丘小学校	21	柏木小学校	48
元八王子小学校	22	南大沢小学校	49
元八王子東小学校	23	宮上小学校	50
上壺分方小学校	24	愛宕小学校	51
城山小学校	25	松木小学校	52
式分方小学校	26	下柚木小学校	53
横川小・横川中学校	27	上柚木小学校	54

◆掲載校一覧

長池小学校	55	松木中学校	82
鑓水小学校	56	鑓水中学校	83
高尾山学園	57		
第一中学校	58		
第五中学校	59		
第六中学校	60		
第七中学校	61		
ひよどり山中学校	62		
甲ノ原中学校	63		
石川中学校	64		
横山中学校	65		
長房中学校	66		
櫛田中学校	67		
元八王子中学校	68		
城山中学校	69		
恩方中学校	70		
川口中学校	71		
由井中学校	72		
打越中学校	73		
浅川中学校	74		
陵南中学校	75		
由木中学校	76		
松が谷中学校	77		
中山中学校	78		
南大沢中学校	79		
宮上中学校	80		
上柚木中学校	81		

掲載事業一覧

本書の「活動の特徴・工夫」に掲載された事業についての一覧です。

※この一覧は本事例集に掲載されている事業のみについてであり、学校の全ての活動を表しているものではありません。

No	学校名	設置 年度	授業 支援	課外 補習	図書 活動	各種 検定	体験 学習	農園	部活 支援	生活・ 健康支援	放課後 子ども教室	環境 美化	緑化	防災	地域 行事	物販	広報	地域 人材	連携 交流	研修	経営評価 ・参加
1	第一小学校	29		●										●							
2	第二小学校	25		●									●	●							
3	第四小学校	28		●		●							●	●							
4	第五小学校	26									●			●							
5	いずみの森小中学校	29		●										●			●				
6	第七小学校	22	●	●						●		●		●							
7	第九小学校	28		●																	
8	中野北小学校	28									●			●							
9	清水小学校	26		●																	
10	大和田小学校	29	●	●						●							●				
11	小宮小学校	28				●															
12	高倉小学校	25				●															
13	宇津木台小学校	26		●				●													
14	横山第一小学校	24				●	●				●			●							
15	横山第二小学校	29									●			●			●				●
16	散田小学校	28					●														
17	長房小学校	23						●													
18	館小中学校	22												●							
19	山田小学校	28				●							●	●							
20	櫛田小学校	21				●								●							
21	緑が丘小学校	27		●										●							
22	元八王子小学校	29		●						●										●	
23	元八王子東小学校	29		●	●	●		●													
24	上叡分方小学校	29		●		●															
25	城山小学校	29		●										●			●				
26	式分方小学校	26					●									●	●	●			
27	横川小・横川中学校	29		●		●													●		
28	恩方第一小学校	29		●											●						
29	恩方第二小学校	29						●						●	●				●		
30	元木小学校	29		●				●											●		
31	陶鎔小学校	20	●							●				●							
32	上川口小学校	24		●			●			●					●			●			●
33	櫛原小学校	29		●		●						●					●		●		
34	加住小中学校	22					●														
35	由井第二小学校	29				●					●				●				●		
36	由井第三小学校	26						●													
37	長沼小学校	27		●							●			●							
38	片倉台小学校	29		●								●		●							
39	高嶺小学校	25		●																	
40	浅川小学校	20														●	●				
41	東浅川小学校	19	●	●	●					●									●		●
42	由木中央小学校	29			●							●									
43	由木東小学校	29			●		●				●								●		
44	由木西小学校	27								●			●	●							
45	鹿島小学校	29					●			●									●		
46	松が谷小学校	29	●	●										●					●		
47	中山小学校	21					●						●					●			
48	柏木小学校	23		●				●						●							

掲載事業一覧

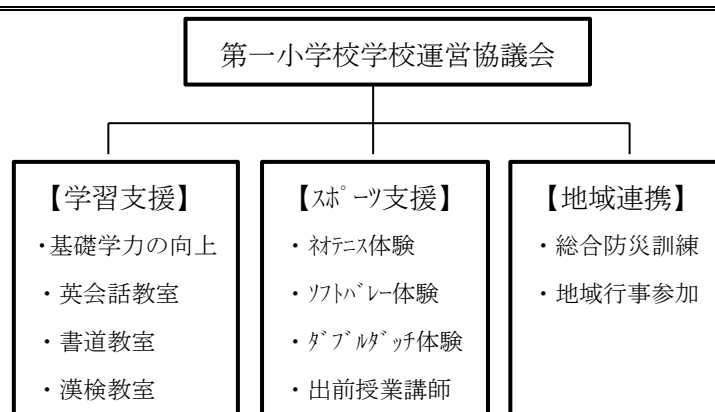
本書の「活動の特徴・工夫」に掲載された事業についての一覧です。

※この一覧は本事例集に掲載されている事業のみについてであり、学校の全ての活動を表しているものではありません。

No	学校名	設置 年度	授業 支援	課外 補習	図書 活動	各種 検定	体験 学習	農園	部活 支援	生活・ 健康支援	放課後 子ども教室	環境 美化	緑化	防災	地域 行事	物販	広報	地域 人材	連携 交流	研修	経営評価 ・参加
49	南大沢小学校	23	●					●									●				
50	宮上小学校	21								●			●						●		
51	愛宕小学校	22	●				●			●	●			●	●			●			
52	松木小学校	23		●		●											●	●	●		
53	下柚木小学校	21		●	●						●		●						●		●
54	上柚木小学校	29				●	●				●										
55	長池小学校	23								●					●		●	●			
56	鏈水小学校	29								●	●		●			●			●		
57	高尾山学園	27																●		●	
58	第一中学校	21												●					●		●
59	第五中学校	29		●		●								●					●		
60	第六中学校	19		●	●									●						●	●
61	第七中学校	29													●		●	●			
62	ひよどり山中学校	25		●				●											●		
63	甲ノ原中学校	29	●	●	●														●		
64	石川中学校	29		●																	
65	横山中学校	26	●	●											●				●		
66	長房中学校	29		●																	
67	櫛田中学校	27		●								●									
68	元八王子中学校	20				●													●		
69	城山中学校	20								●					●				●		
70	恩方中学校	24		●								●									
71	川口中学校	26					●						●								
72	由井中学校	25		●										●							
73	打越中学校	29	●	●		●						●		●							●
74	浅川中学校	22	●	●		●			●				●								●
75	陵南中学校	21					●														
76	由木中学校	24		●																	
77	松が谷中学校	29		●			●											●	●		
78	中山中学校	25					●						●	●							
79	南大沢中学校	23																	●		
80	宮上中学校	19		●		●													●		
81	上柚木中学校	29		●		●								●			●				
82	松木中学校	22		●		●									●						
83	鏈水中学校	29		●		●						●	●				●				

■活動の目的・概要

○本校の教育方針である「地域で育ち、地域に生きる子の育成」をめざし、学力向上や体力向上、地域連携など、様々な視点から地域に根付いた教育活動について熟議を重ねている。また、年間行動目標を「学校支援活動の推進」とし、学校の応援団として、保護者や地域住民が協力して多様な活動を行う仕組みを構築している。



■活動の特徴・工夫

○放課後学習支援

・平成29年度から毎週水曜日の放課後に、多目的室を利用して放課後学習支援を実施している。地域の方や保護者の方々に学習アドバイザーとして協力していただき、基礎学力の定着に向けた取組を行っている。また、週ごとに「英会話教室」「書道教室」「漢検教室」を実施し、児童の興味・関心を高め、学習意欲の向上や達成感の充実が図れる取組も行っている。活動後には毎回振り返りを行い、反省点や良かった点など、次回への申し送りをノートに記録し教職員と共有できる工夫をしている。

○放課後スポーツ支援

・放課後学習支援同様に、平成29年度から水曜日の放課後、月に1～2回程度、体育館を利用して放課後スポーツ支援を実施している。第一地区スポーツクラブの方々にスポーツアドバイザーとして協力していただき、体力向上やスポーツへの興味・関心を高めることを目的として行っている。種目としては、八王子市が発祥のスポーツである「ネオテニス」を中心に「ソフトバレーボール」「ダブルダッチ」など、低学年の児童でも楽しみながらできるスポーツを取り入れ、体を動かすことの楽しさや地域に根付いたスポーツの発展など、生涯スポーツの一助も担っている。

○学校・地域・家庭が連携した総合防災訓練

・元横連合町会を中心に、地域の消防団や婦人会、PTAなど、地域と連携した総合防災訓練を年間1回実施している。実施時期や実施方法、訓練内容等は、元横連合町会の町会長たちと協議・話し合いを幾度も行い、大規模災害が発生したときに冷静に行動できるような心構えや対応方法を身に付けさせ、自らの命を守っていけることを目的として取組んでいる。



■活動の目的・概要

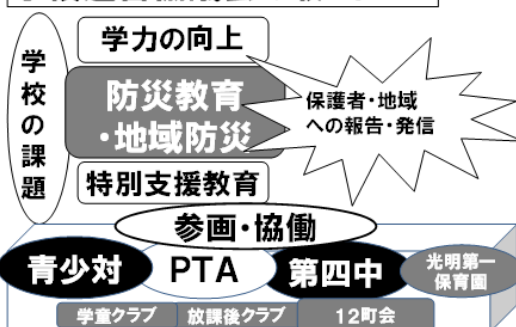
○地域と学校との絆を土台にして、地域・保護者と共に歩み、さらに成長していく学校を目指す。



そのために、

- ・地域や保護者と連携した学校づくりを推進する。
- ・地域や保護者の参画による学校の活性化を図る。

学校運営協議会の取り組み



■活動の特徴・工夫

○地域の力を活かした学校づくりの推進

- ・本校の教育活動のさらなる推進
地域の参画による学校運営を推進し、地域の幅広いネットワークを活かした教育活動を進めている。
- 教育課程の適正実施・基礎基本を重視した指導方法・さらなる充実を目指した学校行事の精選・児童の安全を最優先にした学校施設の検討等について意見交換を行っている。



○二小のある町を知り、町の方々との交流を通して、地域を愛する心を育てる学習

- ・日光ウォッチング（信松院、産千代神社、興岳寺）
- ・八王子祭り
- ・卒業生から戦争のあった頃のお話を聞く
- ・琴・尺八体験
- ・甲州街道に絵を飾ろう
- ・商店街探検
- ・多摩織体験



○学びを支える環境づくり

- ・花いっぱい学校 子ども一人一人の心にきれいな花を咲かせよう
学校運営協議会委員と環境委員会児童が協力し、中庭や学級園に花の苗や球根の植栽活動を実施。きれいな花がいつも咲き、児童の学校生活を見守っている。



○基礎学力アップ丸つけ大作戦

- ・学力向上への取組
児童一人一人に確かな学力を定着させるため、学校運営協議会委員や地域の方が教員と協力し、2～6学年を対象に国語・算数を中心とした放課後の補習学習や丸つけを実施。



○地域の力を高める学校づくり

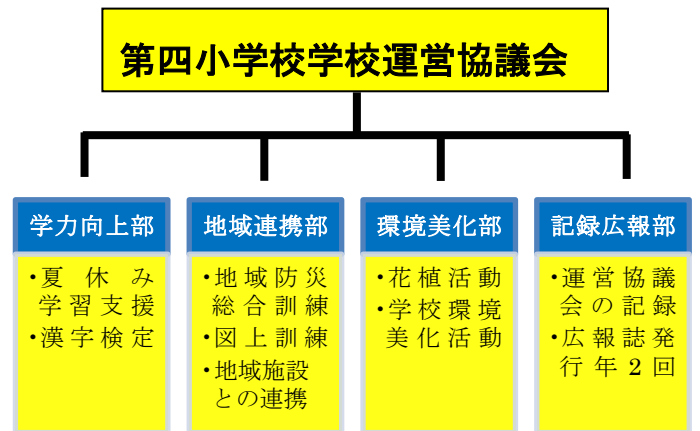
- ・地域や近隣施設等と連携した学校地域合同防災訓練
12町会・市（防災課・施設管理課）・八王子消防署・第四中学校・光明第一保育園と連携して学校地域防災訓練を開催している。
本校の教育活動は、地域の方々に支えられており、この強みを活かしながら学校と地域の絆を強めている。



■活動の目的・概要

○教育目標の「すすんで学びよく考える子・心豊かでみんなのために働く子・健康でいのちを大切にする子」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。「自立・共生・貢献」をテーマに熟議を重ね、その基礎として「人・物・時間に対するあたりまえ」があたりまえにできる児童の育成を図る。

○学校運営協議会が取組む4つの柱を「学力向上」「地域連携」「環境美化」「記録広報」とし、学校運営協議会内に分科会を置き、学校・保護者・地域・他機関が一体となって多様な学校支援活動を行う仕組みを構築している。



■活動の特徴・工夫

○「学力向上部」の取組・・・『夏休みパワーアップ教室』・『漢字検定』

・「学力向上部」は熟議を重ねて、児童の基礎学力定着を図るため、平成29年度から、夏季休業中に『夏休みパワーアップ教室』を開設。

学習ボランティアとして、帝京大学の学生並びに第五中学校の生徒が個別指導を中心に東京ベーシック・ドリルを活用し、基礎学力の定着を図っている。

毎回、『夏休みパワーアップ教室』実施前には打ち合わせ、実施後には反省会を行い、情報を共有することで次回に生かすよう工夫をしている。

毎年1月には『漢字検定』を行い、保護者の方にボランティアとして会場運営に関わっていただき、児童は目標に向けて練習に励み、学ぶ意欲と漢字力を身につけている。



○「地域連携部」の取組・・・『総合防災訓練』『図上訓練』

・毎年4月に児童をはじめ、保護者・地域・消防署等と連携して『総合防災訓練』に取組み、様々な体験活動を通して、自助・共助・公助の大切さを学び、防災意識を高めている。また、『図上訓練』に参加し、地域としてできること、支援のあり方、町会との連携の仕方等を熟議している。



○「環境美化部」・・・『街路樹植え込みへの花植活動』・『学校校舎内外の美化活動』・『芝生の手入れ』

・『街路樹植え込みへの花植活動』では、児童が住んでいる地域において、花植を地域の方と行い、過ごしやすく気持ちのよい環境作りを行うとともに、地域の方との絆を深めている。

『学校校舎内外の美化活動』では、児童・保護者・地域が学校の校庭の除草・剪定や清掃活動等を行い、学校環境の美化を図っている。また、『芝生の手入れ』は、決められた週1回の活動日に地域の方が中心となって実施している。



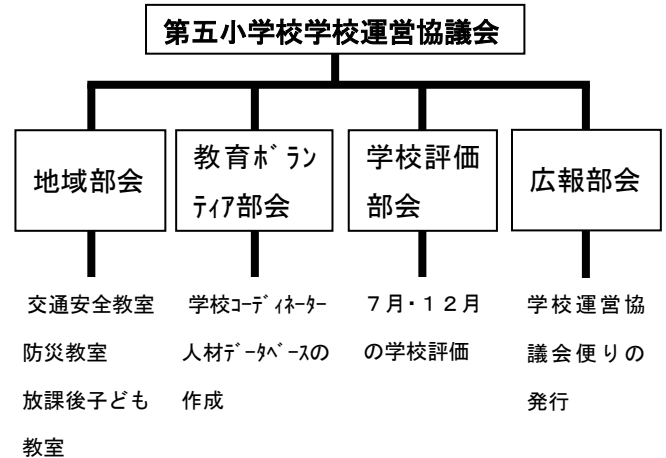
○「記録広報部」

・広報を年1回発行し、地域や保護者に対し、運営目標や協議の結果・活動等の情報を提供しています。

■活動の目的・概要

○学校、家庭、地域の教育力を生かし、地域に根差したよりよい学校づくりを進めていくとともに、地域と連携しながら、子どもたちの心身ともの健やかさ、豊かな心を育む。

○教育ボランティアの充実と活用により、確かな学力の向上を図る。



■活動の特徴・工夫

○放課後子ども教室

・長年続いている本校の放課後子ども教室の開催は、4～9月は午後5時まで、10月は午後4時30分まで、11～3月は午後4時まで、土日祝日を除くほぼ毎日実施している。長期休業中も実施しており、子どもたちの放課後の居場所が広がっている。

校庭での活動が主であり、雨天時や校庭が使用できない場合は、プレイルームで実施している。開放員の方々は地域の方で構成されており、「おじちゃん」「おばちゃん」と子どもたちも親しげに挨拶や話しをする関係が築かれている。開放員の方々も温かく接していただいているが、注意すべきことはきちんと指導していただき、まさに地域と一緒に五小っ子を育てている。



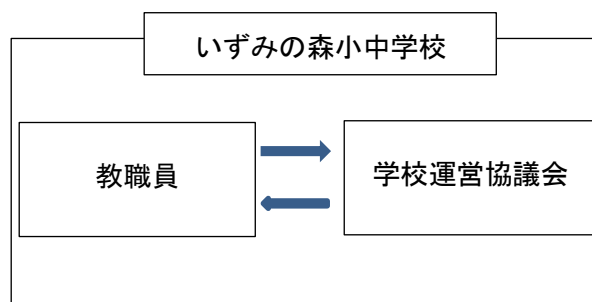
○地域合同防災訓練

・平成28年度から、土曜日の学校公開に合わせて五小近隣の六町会合同の防災訓練を実施している。町会ごとに分担し、起震車体験、煙体験、AED等のコーナーを設け、準備・運営を行い、子どもたちはもちろん、保護者や地域の方々も自由に参加し、防災意識を高めるきっかけとなっている。



■活動の目的・概要

○地域とともにある学校づくりを推進することで、義務教育学校開校の準備、また、開校後の教育活動の充実を図る。学校複合施設整備について協議を推進する。



■活動の特徴・工夫

○地域と共にある学校づくりの推進

- ・ 地域との連携を高めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・ 学校協議会の役割についての協議
- ・ 学校複合施設としての活動の企画・調整・運営について協議
- ・ 学校運営協議会視察実施

○活動予定

- ・ 地域と連携した教育活動・取組として学校・地域連携防災訓練の実施

現在、青少対・サタデースクールの共催で防災スクールを実施しており、煙体験や初期消火訓練を実施しているが、学校を核とした地域防災体制の構築を図るために、学校と地域が連携した防災訓練の実施実現に向けて協議を進める。

- ・ 義務教育学校コミュニティスペースの運営・活用方法の具体化

複合施設として併設される地域コミュニティスペースについて、地域と子どもたちの交流を育み、地域から子どもたちの活動をあたたかく見守ってもらえる施設としていくための方策について協議を進める。

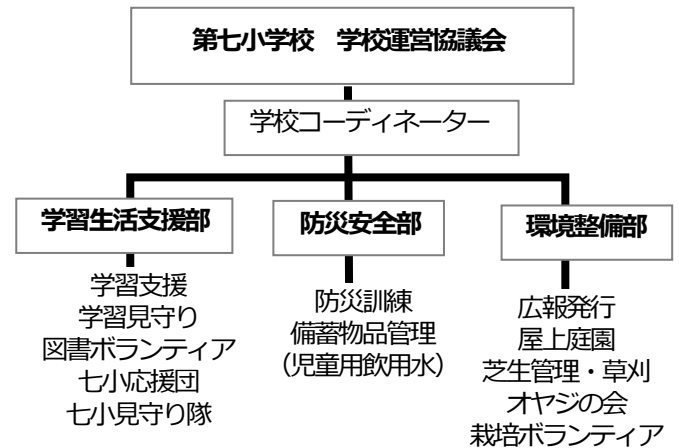
- ・ 学習支援（授業時間、始業前、放課後、長期休業期間）支援者としてのボランティア（大学生他）の確保策
地域人材の活用による学校支援の充実を図る。

- ・ 学校、町会、青少対、PTA、放課後子ども教室、サタデースクール等、それぞれの活動・取組を一覧できるコミュニティカレンダーの作成

学校・地域が相互に協力することで、お互いの活動の充実を図ることを目的にコミュニティカレンダーの作成に向けて協議を進める。

■活動の目的・概要

- 地域運営学校として、地域との連携の充実を図り、安全・安心な学校づくりを推進し、地域の将来を担う子どもたちを、地域人材が核となって育成する。
- 児童の学力の定着及び向上を目指す。
- 学校と地域とのパートナーシップの確立を目指し、地域がともに手を携えて教育活動の質的向上を支援する。
- 学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動を構築していく。



■活動の特徴・工夫

○七小ピカピカデー（学校清掃活動）

- ・地域運営学校指定初年度以前から継承されていた活動を、学校運営協議会の主催、PTAとの共催として実施。夏季休業終了3日前に、有志が集い、夏季休業中の埃や汚れ、日ごろ手の届かない箇所について清掃を行う。児童有志、学校開放地域スポーツ団体、PTA、教職員並びに学校運営協議会が参加している。

○七小応援団・七小見守り隊（安全ボランティア）

- ・「七小応援団」「七小見守り隊（安全ボランティア）」として組織を作り、地域の支援者の輪を広げ、保護者や地域の方の協力を得ながら、学校支援活動を展開している。
 - （1）学習支援：教室での学びの個別支援や児童の学習補助など
 - （2）生活支援：配慮を要する児童への個別支援や見回り活動など
※見回り活動後は、簡単な見回り日誌に記録していただき、情報連携を充実させている。
 - （3）放課後算数教室：算数の苦手な児童を対象に放課後補習を実施
第3学年以上の児童を中心に補習支援を行い、算数の苦手軽減に努めている。
 - （4）漢字検定の実施：平成29年度から実施
児童の漢字学習への意欲、漢字能力の向上のために、準会場として検定を実施している。
PTA本部役員が当日の運営スタッフとして活動。本校児童及び保護者・教職員を対象に開催。（年1回）

○栽培ボランティアとの協働による「花育」支援

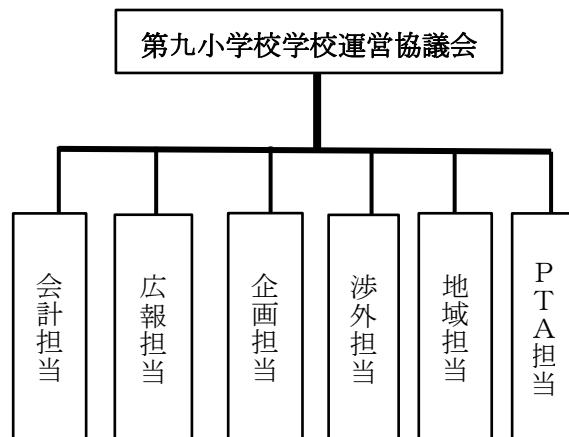
- （1）学級園の整備
- （2）西側歩道フェンスの植栽管理・中庭（グリーンガーデン）プランターの整備
児童会を中心に名称募集の活動に後方支援（1年児童がプランターに植えた花を栽培委員会児童が管理を引き継ぎ、その手助けを適宜行う。）
- （3）屋上庭園の整備：ブルーベリーの収穫等

○地域防災訓練（七小セーフガード）

- ・毎年9月に実施される台町四丁目防災訓練に学校運営協議会として参加し、実際の避難所開設を想定して実践的な課題に取組み、防災意識を高めている。
これまで、仮設トイレの設置や濾水器の試運転等に実践的な訓練を行っている。
学校運営協議会が共催という形で訓練を実施し、学校と地域の連携をより密にする計画を立てている。

■活動の目的・概要

- 地域の願いを学校運営に生かしながら、地域と学校とが強い連携で子どもたちの健やかな育成を目指す。
- 学校運営協議会、地域運営学校の理解促進のため、イベントの開催を通じて理解を広げてく。
- イベントのほか、学校運営協議会委員や地域の方々のご力を得て、補習教室を実施し、子どもたちの学力向上を目指す。



■活動の特徴・工夫

○「算数補習教室」

- ・毎週水曜日の午後及び長期休業中を利用して、補習教室を開催している。子どもたちは用意された東京ベーシック・ドリルに挑戦し、地域の方や学校運営協議会委員が丸つけをしている。学習意欲の向上や苦手な箇所を克服できたという声が聞こえてくるとともに、教室内では見られない子どもたちの良さを発見することもある。
- 今後子どもたちの学力向上を目指し、継続して取組んでいく。



○「持久走大会」

- ・学校運営協議会の協議において、地域運営学校としての理解を促進するために、イベントを開こうという意見が出たことが発端で、体力づくりの一環として、学校運営協議会や地域の方、学校が協同して開催している。
- 開会式には近隣中学校のブラスバンドや地域の太鼓同好会の皆さんにも協力をいただき、当日はたくさんの保護者・地域の方々が応援に駆けつけてくださり、地域行事としても根付いてきている。



○「夏季講座」

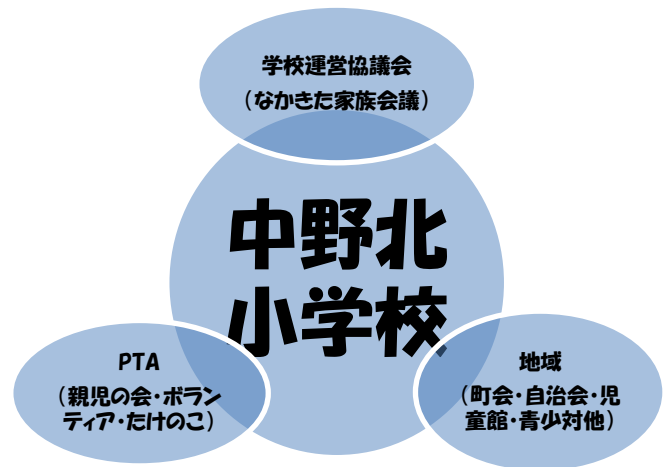
- ・地域には様々な技能をお持ちの方々がたくさんおり、特別な技能でなくても、趣味を生かした講座や好きな者同士で仲良く開く講座などがあり、そこに九小の子どもたちも参加させていただいている。
- 囲碁教室や図画工作教室、スポーツ教室等、様々な種類の講座があり、今後、講座数を増やしていきたいと考えている、
- 技能を教えていただくだけでなく、地域の方々と顔見知りになる貴重な機会となっており、大人も子どもも楽しめる講座となっている。
- 講座での交流を通じて、学習支援でも協力してくださる地域の方が増えている。



■活動の目的・概要

○なかきた家族の創造

地域の誇りとなる学校を実現するため、中野北小学校に関わる全ての方が「中野北小学校」の話題で笑顔になり、子どもたちをみんなで育てる「なかきた家族」の創造を目指す。



■活動の特徴・工夫

○放課後子ども教室「たけのこ」

- ・毎週金曜日の放課後に開催。放課後子ども教室推進委員会委員長は本校学校運営協議会会長であり、安全管理補助員の方も学校運営協議会委員の1人である。

また、PTAの中に「たけのこ委員会」があり、PTA会員が当番で運営・安全管理を行っている。

「たけのこ」では、月に1回程度、クッキングスクールや講師を招いての学習教室（工作・ネオテニス・バドミントン・サッカー等）を開催している。



○避難所宿泊体験

- ・学校運営協議会・PTA・親児の会が企画・運営の中心となり、夏季休業中に実施。煙体験・起震車体験・応急処置訓練・炊き出し訓練・宿泊訓練等を実施し、学校が行う地域との防災訓練となっている。

防災課から起震車やマット等を借り、炊き出し訓練用のアルファ化米の提供を受けている。また、消防署からは煙ハウスを借りたり、応急処置訓練に協力いただき、子どもたちや保護者への指導していただいている。

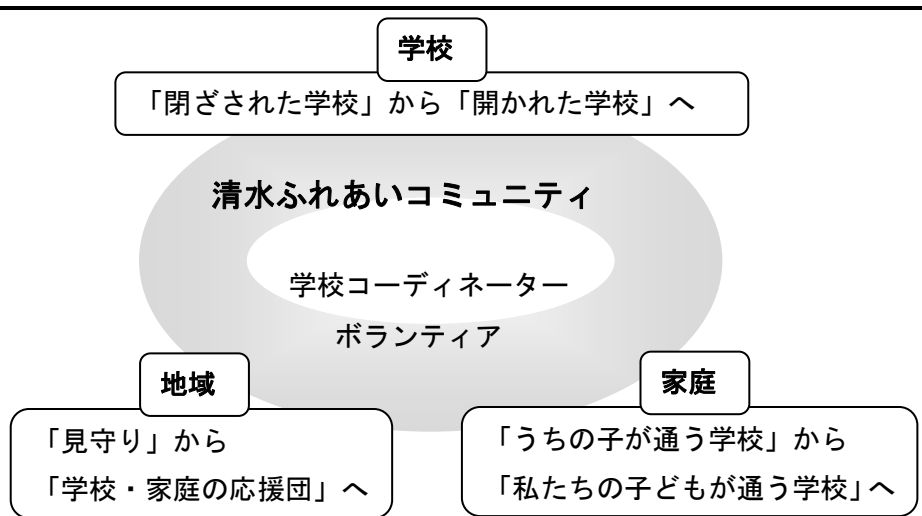


■活動の目的・概要

○清水ふれあいコミュニティ

学校と家庭、地域が共に知恵を出し合い、協働しながら児童の豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」のベースをつくることを目指している。

「学力向上」「あいさつ」を重点目標として取組んでいる。



■活動の特徴・工夫

○補習支援

・学校運営協議会の協議において、教育課程の中で、学力向上の方策について、

- (1) 授業の充実
- (2) 朝読書
- (3) 読み聞かせ
- (4) 家庭学習の充実
- (5) 漢字検定
- (6) 補習支援の充実

などが挙げられ、学校運営協議会としてもできることはないか検討した結果、読み聞かせや漢字検定に協力している。

・補習支援は、毎週金曜日の放課後に、補習を必要とする児童と補習を希望する児童を対象として、算数の支援に取り組んでいる。担任一人では算数が苦手な児童に対して十分な対応ができないというところから、学校運営協議会委員が地域の方へ働きかけを行い、ボランティアを募っている。

ボランティアの方には、事前に年間の開催スケジュールを配布している。補習に来られた際には、当日担当してもらう教室をカードでお渡ししている。

複数の大人が入ることにより、よりきめ細かく丁寧に児童に対応することができ、児童は意欲的に学習に取り組んでいて、「〇〇先生！」と廊下まで迎えに来てくれる低学年の児童もいる。



■活動の目的・概要

○教育目標の「よく考えて勉強する子ども・健康で明るい子ども・思いやりのある清らかな子ども」を学校・家庭・地域の協働により達成していくため、年11回学校運営協議会を開催し、「みんなで育てる大和田っ子」を目標に、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

大和田小学校運営協議会

校内支援
理科支援
昔遊び
漢字検定
教育懇談会
諸行事への参加

校外支援
青少対での事業
子ども会
サタデースクールへの応援
出張児童館への支援
学運協だよりの発行

■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会委員は、大和田小学校の地域ですでに活躍する姿があり、各自の得意とする分野を生かすことで、地域と連携した特色ある学校づくりが進み、学校と地域の協働活動の幅を広げている。

・学習支援の充実

学力向上に向けた学習支援(理科支援や漢字検定)の実施

生活科や総合的な学習(昔遊び)の支援の実施

・生活習慣の定着

問題行動や不登校に関する協議及び支援(朝の登校指導)の実施

個別指導が必要な児童への支援

・学校環境の整備

教育懇談会の開催による意識改革

保護者・地域の協力による除雪作業の実施

・地域協働

地域団体や親父の会と連携を図り、各種取組の展開

・広報活動・人材発掘

学校運営協議会の周知により地域の目を学校に向けることで、ボランティア人材を発掘



おやじの会主催
「避難所体験キャンプ」



研究発表会(体育)
のびのびタイム

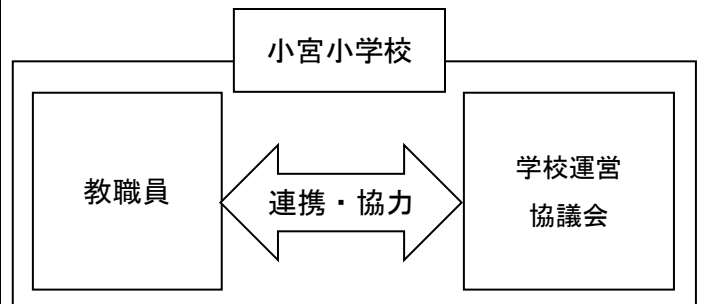


大和会の方との交流活動
「昔遊び」

■活動の目的・概要

○学校で進めている教育活動について意見を伺うためには、まずどんな取組が行われていることを知っていただくことが欠かせない。

様々な学校行事等を参観していただき、その直後に会議を設定することで意見を伺う機会を設け、次年度以降の計画に保護者や地域の方の声を生かしていく。



■活動の特徴・工夫

○「各行事への参加をもとにした、地域の考えを生かした学校行事の計画づくり」

- ・学校運営協議会委員が学校で行われている行事に参加し、その直後に設定している学校運営協議会の会議において、意見を発表しあうことで、今までの計画に保護者や地域の考えを生かしている。

＜参加行事＞

- 6月：セーフティ教室、給食試食会
- 10月：道徳授業地区公開授業及び意見交換会、小宮祭り
- 11月：外国語活動授業及び研修会
- 12月：校内研究授業及び研究協議会、市制100周年記念植樹（平成29年度）
- 1月：校内書初め展、教員による自主勉強会
- 2月：クラブ活動
- 3月：6年生を送る会

○「放課後補習学習」

- ・日々、教員も補習に取組み、学力向上に取り組んでいるが、会議等で指導できないこともある。教員のサポート及び児童の学力向上を図るため、毎週金曜日の放課後に地域人材を活用した補習教室を開催している。児童がその学年で身に付けるべき学習内容を理解していくことで、日々の学習においても意欲を持って学習に取り組むことができるようになる。学習に対する前向きな気持ちが、落ち着いた学級生活にもつながっている。

○「漢字検定」

- ・自ら机に向かう「家庭学習の習慣の定着」が身に付く励みになること及び「基礎学力の向上」を目指して、平成28年度から実施。保護者からボランティアを募り、検定の運営を行い、学校運営協議会も協力する形で実施している。

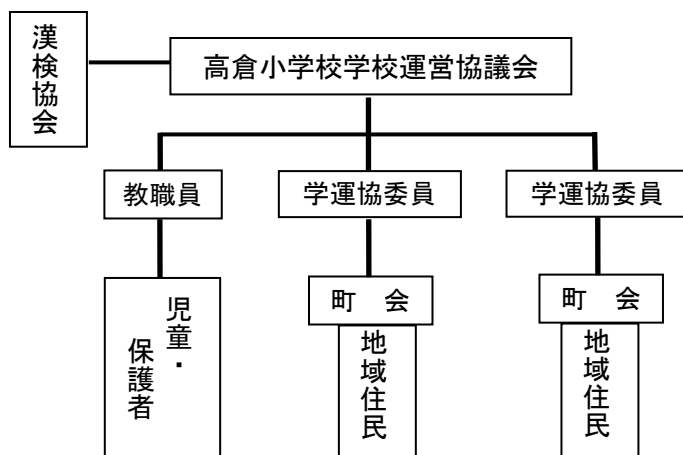
■活動の目的・概要

○目的

1. 本校児童の学力の向上を目指す。
2. 保護者も受検することで、子どもとともに学べる機会を設け、学習に対する関心を喚起する。

○概要

1. 漢字検定を本校を準会場として実施する。
2. 実施日の補助員などは、地域・町会から募ることで、学校運営協議会委員を介して地域と学校がつながる機会となる。



■活動の特徴・工夫

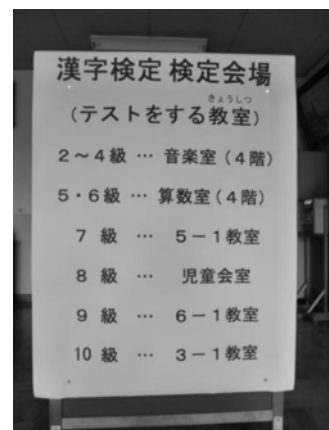
○漢字検定

・特徴

- (1) 受検者を児童に限定するのではなく、保護者も受検可能にしている。
- (2) 学校運営協議会は、町会との連絡・調整と保護者・児童への案内
地域住民は、会場準備・片付け、当日の試験の監督
教職員は、児童への受検の案内や励まし、学習の方法のアドバイス
このように役割を明確にし、分担して取組んでいる。
- (3) 地域住民（小中高校生、大学・一般社会人・高齢者など）が漢字検定を受けられる学校を目指している。また、学校が地域の拠点になることを目指している。

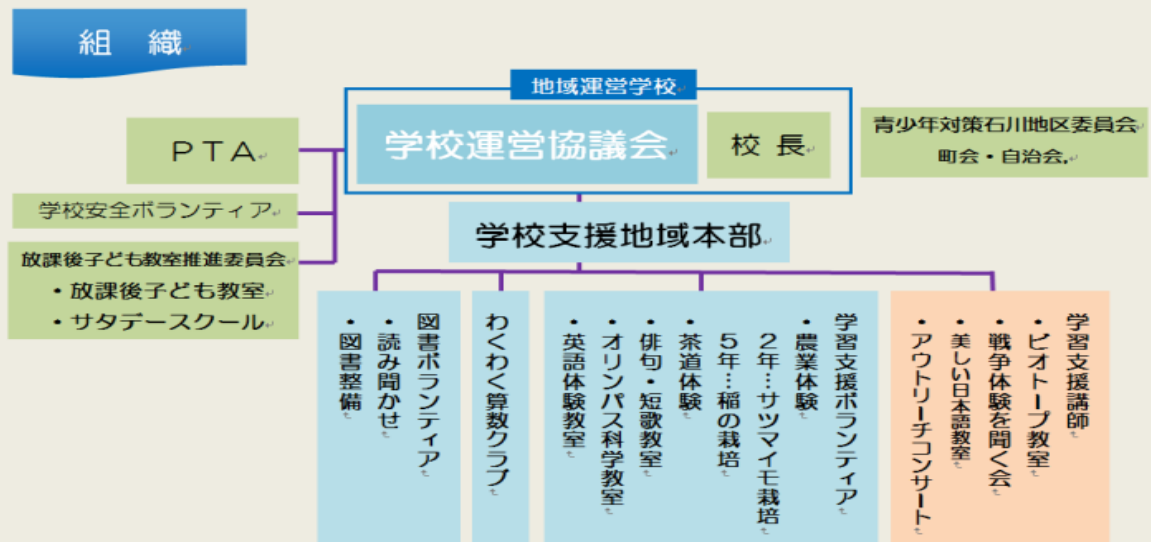
・工夫

- (1) 平成27年度から漢字検定の実施を開始し、当初は、「息切れしない」「無理なく進む」ことを第一に考え、学校運営協議会を含め関係者が漢字検定の実施に慣れることを目標に進めてきた。年々、漢字検定の補助員を引き受けてくださる方も試験の監督や事務作業等に慣れてきており、受検者も事前の周知等で増えてきている。
- (2) 実施日の補助員に地域の方を充てることで、教職員に負担を与えず、サポート役に徹してもらうようにしている。
- (3) 実施後に30分程度の反省会を行うことで、PDCAサイクルを確立するとともに、異なる町会の方々が触れ合えるようにしている。



■活動の目的・概要

○地域と学校が一体となって様々な教育活動を行う中で、子どもたちにいろいろな体験を積み、豊かな心と健康な体を育むことを目的として活動する。



■活動の特徴・工夫

○わくわく算数クラブ

- ・毎週木曜日の放課後、全学年の子どもたちを対象に、算数の学習補助を行っている。学習アドバイザーとして地域の方に入ってもらい、習熟のためのプリントを活用し、基礎・基本の定着を図っている。

○農業体験

- ・「宇津木クラブ」や地元の農家の皆さんの協力で、校内の畑でジャガイモやサツマイモを栽培している。自然に触れながら生命を育てることの難しさ、楽しさなどを学習している。

○サタデースクール

- ・年8回、土曜日の午前中を中心にドッジボール大会や味噌作り、しめ縄飾り作りなどを行っている。9月のサタデースクールでは星空シアターと題して、夜空の下で親子揃って映画の鑑賞を行っている。

○その他

- ・地域の方々の協力をいただき、年1回、漢字検定の実施や茶道教室・俳句・短歌教室・戦争体験を聞く会などを開催している。



■活動の目的・概要

- 児童の「学力の向上」「体力の向上」「地域行事への積極的な参加」を目指す。
- 地域資源（人材、自然、施設）の発掘、活用を図り、地域と一体となった学校作りを進める。
- 学校運営協議会を核として、「安全・安心、地域連携・地域防災部会」「子育て支援部会」「交流活動・伝統文化、学び・体力部会」の3つの専門部会を設置し、学校の分掌組織やPTAのボランティア組織と連携させた協働的な活動を行う。



■活動の特徴・工夫

○漢字検定（8月・2月）

「学び・体力部会」が中心となって、年間2回、漢字検定を行っている。漢字学習への動機づけや、漢字の習得への意欲につながっている。



○オータムキャンプ（9月）

家族や友達と泊まる体験だけでなく、理科実験教室の実施や、ドラム缶風呂や流しソーメン体験などの普段できない体験ができるように工夫している。



テント張り

理科実験教室



○放課後子ども教室（年間約130回）

「学び・体力部会」の放課後子ども教室推進委員会で、児童館や地域のスポーツ推進委員、地域学習ボランティア等と連携しながら、学力向上・体力向上を図る取組を行っている。

習字教室



サッカー教室



○地域防災会議（年間5回、地域防災訓練12月）

「安全・安心部会」が中心となり、地域の町会・自治会長や防災担当者と連携し、学校を避難所とした地域防災訓練を実施している。



■活動の目的・概要

- 学校教育目標(思いやりのある子、よく考える子、体をきたえる子)、・学校経営方針の具現化を目指し、児童にとり安心で安全で居場所のある学校づくりを実現する。
- 「花と緑と笑顔の学校」をスローガンとし、地域も、保護者も、教職員も誇れる学校づくりを実現する。
- 「地域の子どもは地域で育てる」。学校・保護者・地域が連携し、児童の健全育成に努める。
- 地域の願いを学校運営に生かす、地域に開かれた学校づくりを実現する。
- この学校で学ぶことを通して、この先生に出会えて良かったと、子供からも保護者からも思われる学校づくりを実現する。



- ・学校運営協議会開催(年8回)
- ・学校だよりにより毎月「学校運営協議会」掲載
- ・地域運営学校だより発行(協議会終了後)
- ・学校ホームページに学校運営協議会バナー設定
活動内容、協議会の内容等報告

■活動の特徴・工夫



＜出会い・顔合わせ＞

⇒新年度当初、第1回学校運営協議会では本校PTA役員・教職員との顔合わせ会を実施している。互いの顔と名前を知ること信頼関係が生まれ、結び付きが強固になる。学校運営協議会は学校の味方であり応援団であることをアピールしている。

＜協議会＞

⇒議事進行が滞りなく進行するよう最新の資料を迅速、的確に提供し、情報共有を図る。委員も活発に発言している。

＜活動紹介・発信＞

⇒学校運営協議会の活動内容をホームページ、地域運営学校だより等で発信。最新情報の共有化を図っている。



＜授業参観・給食試食＞

⇒学校運営協議会の開催日は毎回、授業参観を実施している。児童の様子を直接、見る機会を設け本校の課題等を明確にしている。土曜日の学校公開時には給食試食会も開催している。八王子市が掲げる食育の大切さを委員と一緒に考えている。

＜放課後子ども教室＞

⇒夏季休業中の放課後子ども教室は委員や保護者が講師となり、編み物や勉強等を教えている。児童と関わりが深まる。

＜地域防災会議＞

⇒行政、消防署、幼稚園・保育園、町会・自治会、学校等と緊急応援職員との顔合わせ、防災倉庫見学を毎年実施している。



＜あそびの広場＞

⇒保護者・地域・教職員が協力し合う学校行事。消防団、防災士等、毎年400名近い方々が参加し、年々増加している。

＜安全ボランティア＞

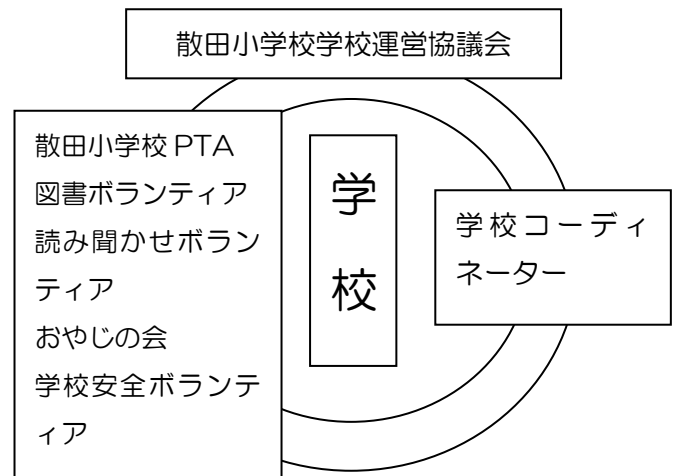
⇒児童の登下校の見守りを毎日、行っている。児童は安全ボランティア(含:委員)の方々と顔を覚え合い、街中も気軽に挨拶している。「地域の子供は地域で育てる」。児童には「いつも見守られている安心感」が育まれ、地域を誇りに思う気持ちが育つ。

＜学校評価アンケート＞

⇒学校評価アンケートを地域住民に配布し回収している。毎年回収率が上がっている(44⇒52⇒54⇒60%)。関心が高い。

■活動の目的・概要

- 学校教育目標の「思いやりのある子・学びあう子・たくましい子」を実現するために、学校の教育活動をサポートする。
- 子どもたちの成長のために、学校、家庭、地域をつなぎ、様々な協力を行う。
- 学校運営協議会を毎月開催し、学校の教育活動を支援する活動に取り組む。



■活動の特徴・工夫

○地域の教育力の活用（ゲストティーチャーを招いての活動）

- ・多様化する社会を生き抜くためには、基礎学力だけではなく、様々な課題に正対し、乗り越えていく力を育む必要がある。その一環として、広い視野を養うために、地域の方を講師として招き、体験活動を展開している。



和太鼓の学習（3年生）



箏の学習（4年生）



遊びのミニ学校の自由木工



昔の散田小のお話（2年生）

■活動の目的・概要

- 学校・保護者・地域が連携して、子どもたちにとって有意義な教育活動を行うことで、生き生きとした子どもたちを育てる。
- 地域・保護者の方の協力を得て、学校だけでは出来ない行事を実施する。(子ども祭り・昔遊び)
- 地域人材を活用した学習を実施する。(川の学習、どんぐり笛、算数教室、箏・和太鼓演奏、盆踊り)
- 長房ファーム(300坪の畑)を活用した野菜作りを行う。

以下の3つを軸に活動

1. スクールサポート
広報誌の発行、図書室整備、読み聞かせ、箏・和太鼓、算数教室(学習支援)、人形劇
2. イベント
端午祭り、地域の夏祭り、いちょう祭り、子ども祭り、川の学習、どんぐり笛づくり
3. ボランティア
安全ボランティア、花壇ボランティア、盆踊りボランティア、スクールファーム活動

■活動の特徴・工夫

○長房小の学校農園

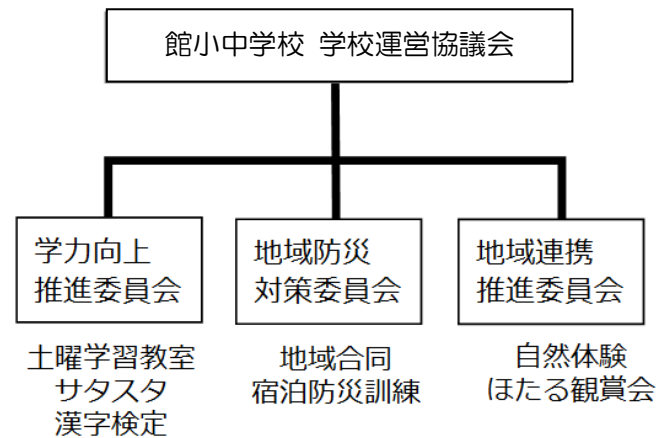
- ・校庭隣接の都営住宅跡地300坪を借り受け、地域の方の協力のもと、開墾・作付け・収穫を行う。授業でも農園活動を取入れ、自然と触れ合う機会を設けている。
- 収穫した野菜は給食の食材や地域行事等に活用している。



■活動の目的・概要

○平成22年度以前は、館小・館中それぞれに学校運営協議会が設立されていた。平成23年度の小中一貫校設立に伴い、学校運営協議会も統合して運営している。

本会は、国立教育政策研究所によるコミュニティスクールを支える学校運営協議会の4つの類型のうち、「総合型」を目指し、地域に開かれた学校、地域に支えられる学校の実現に向けて、一層の力を注いでいる。



■活動の特徴・工夫

○地域合同宿泊防災訓練

- ・平成27年度まで夏季休業中に希望者を対象に実施していた地域合同宿泊防災訓練を、平成28年度からは教育課程に位置付けて展開している。

地域の方々から大きな災害が起こった場合、

- ①地域の結びつきが重要であること、②頼りになるのは中学生であること
- 以上の2点について、訓練を通して再確認したいとの課題が出され、地域防災訓練への積極的な参加を促す提言を受けた。

そこで、地域の方との協議の結果、地域合同の防災訓練については、授業時間中に全児童・生徒と地域の方々、学区内保育園園児等が参加し、宿泊防災訓練については、地域の方と中学校2年生全員が参加することとなった。

(1) 地域合同防災訓練

訓練当日は、上館町会、館ヶ丘自主防災・自治会の皆様をはじめ、青少年対策館地区委員会、八王子消防署浅川出張所、八王子市役所防災課など、関係機関から多くの御協力をいただき、児童・生徒が地域の方々とともに応急救護訓練、初期消火訓練、救出訓練、起震車体験、放水訓練、煙体験訓練等を実施した。本格的な訓練となっているため、参加した児童・生徒たちの表情も引き締まっている。

(2) 宿泊防災訓練

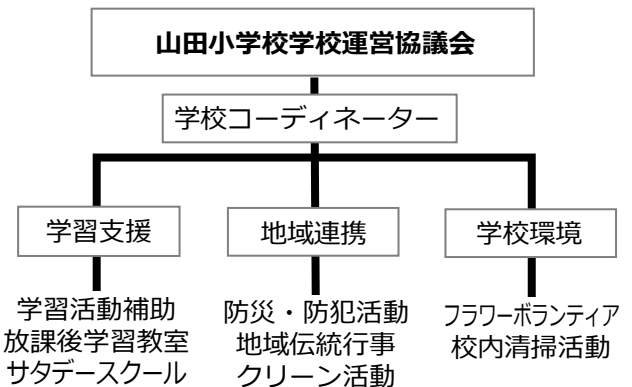
宿泊防災体験では、アルファ化米を使ったカレーライス作りや震災の被災者等による講話や防災学習を行い、その後体育館と地域連携室に分かれ、段ボールを使って宿泊用区画を製作し一晩を過ごしている。

訓練を通して地域の方と生徒が活動をともにすることで、それぞれが地域社会に目を向け、ふれあうよい機会になった。特に、町会婦人部の方と生徒が協力して炊き出しを作る様子は、地域防災訓練の目指す「共助」が見られる場面となっている。



■活動の目的・概要

- 学校の教育目標の具現化のために、地域・保護者・学校の連携を深め、より地域に開かれた学校を目指し、地域の将来を担う子どもたちを地域とともに育てていくためのよりよい学校運営を推進する。
- 地域と学校が共に手を携え、教育活動の質的向上を目指す。
- 地域・保護者・学校が一体となって多様な学校支援活動や放課後支援活動を行う仕組みを構築する。



■活動の特徴・工夫

○防災体験教室

- ・本活動は、サタデースクール事業の一環である「災害体験企画」として、申込者だけ実施していたが、平成24年度からは、学校の防災教育の一つとして位置付け、全校児童に対し、災害時において、自らの命を自分で守ったり、地域の一員として、他者を守る方法を体験活動を通して学び、自助・共助の意識を高めることをねらいとして行っている。

毎年、10月下旬の土曜日、学校公開日に実施しており、体験内容を低学年、中学年、高学年で変え、様々な体験を行えるよう工夫している。

体験教室当日は学校運営協議会、PTA本部に加え、八王子消防署、赤十字八王子奉仕団の協力のもと実施している。

○漢字検定

- ・平成29年度から、学校運営協議会とPTA本部が連携し、学校を会場として「漢字検定」を実施している。毎年100名を超える児童が受検している。

○フラワーボランティア活動

- ・平成29年度から、保護者のボランティア活動の一環として始まり、ガーデニングに詳しい地域の方の協力を得て、美しさを見たり感じたりできる学校環境の整備に取り組んでいる。

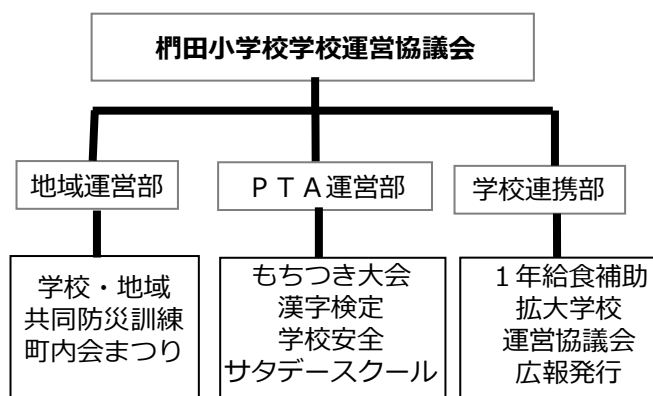
東門から西門に伸びる通路は「山田小フラワーロード」と名付けられ、色とりどりの花が咲き、美しさを途切れることなく感じられるよう工夫されている。

○山田小学校かるた

- ・児童や保護者、地域の方に、郷土のよさを感じてもらうようため、地域や学校に関わる事柄をかるたにした「山田小学校かるた」を作成。このかるたを使っの「かるた大会」を実施し、かるたへ触れる機会を増やすようにしている。

活動の目的・概要

- 教育目標の「たくましい子・たすけあう子・かんがえる子」を学校・家庭・地域の協働により達成していくために熟議を重ねている。
- 学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進している。
- 年間行動目標を「地域協働」とし、学校運営協議会を通じて、地域が教育活動に関わっている。
- 「学校・地域共同防災訓練」を隔年で実施し、災害時の自助・共助・公助の精神を培う。



活動の特徴・工夫

○学校・地域共同防災訓練（地域運営部）

- ・学校運営協議会、PTA役員、八王子消防署消防士、八王子消防団第9分団の協力のもと、平成24年度から隔年で実施。
例年総勢300名を超える参加者規模となっている。
- ・9月中旬の土曜日、学校公開後に開催し、児童は一旦帰宅し、メール配信により、学校に保護者や友達と参集して訓練に参加する。
- ・訓練ブースは6か所設置し、学年ごとに次の3か所のブースを回る。
【1～3年生】…「起震車体験」「煙ハウス体験」「防災に関する映像視聴」
【4～6年生】…「AED救助・担架訓練」「通報訓練」「消火訓練」



○拡大学校運営協議会（学校連携部）

- ・7月と2月に、保護者、地域に向けて学校運営協議会の活動報告、学校評価や学校の教育活動報告を行う場をもっている。



○漢字検定（PTA運営部）

- ・事務局を学校運営協議会に置き、平成26年度から実施している。教員以外にも、PTA（保護者）ボランティアを募集し運営している。実施当初は受験者数が200名程度であったが、年々、増加していて、児童の約半数を超える人数（300名程度）が受験する規模となっている。
- ・不合格者にも、努力賞の賞状を作成し、意欲の向上に努めている。



■活動の目的・概要

- 経営施策の重点「みんなの子どもは、みんなで育てる」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。
- 学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- 「子どもたちの知・徳・体の調和のとれた成長を目指す。」ことを目標とし、学校運営協議会として協議を重ね、学校、保護者、地域が協力し、子どもたちの豊かな成長を支える。

～みんなの子どもは、みんなで育てる～

学校運営協議会

学校

緑豊かな環境
を生かした特
色ある教育

家庭

・緑が丘応援団
・みどりっ子
算数教室

地域

・合同防災訓練
・地域の伝統
文化の継承

■活動の特徴・工夫

○学校、地域、消防による合同防災訓練

・緑が丘小学校を避難場所とする寺田大船自主防災連合会は、10団体（3町会、1自治会、6管理組合）からなり、毎年、緑が丘小学校において防災訓練を実施していた。学校運営協議会では、平成28年度から4月の学校公開日に合わせて合同防災訓練計画立案し、学校、地域、消防による合同防災訓練を隔年で開催する運びとなった。

毎回、学校側の教職員、保護者・児童が約900名、及び地域住民約300名を合わせた約1200名参加のもと、合同防災訓練を実施している。訓練の内容は、八王子消防署みなみ野出張所の支援・協力を得て、初期消火訓練やバケツリレー、スタンドパイプによる訓練が行われた。今回は晴天にも恵まれて校庭で実施したが、雨天時にも訓練が実施できるよう準備をしている。また、学校配布文書や地域配布文書を通して、合同防災訓練の開催の趣旨を周知し、参加を促している。



○みどりっ子算数教室（緑が丘応援団主催）

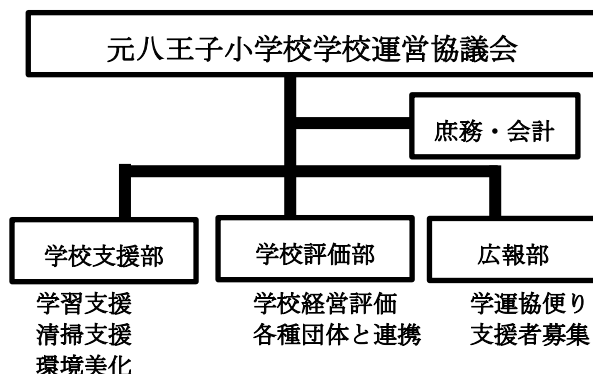
・これまでも安全ボランティアや図書ボランティアとして、地域や保護者の方々の協力を得ていたが、平成28年度から学校運営協議会主導のもと、保護者による「緑が丘応援団」を設立した。

放課後とサタデースクールのある日に、月2回程度のペースで「みどりっ子算数教室」を開催し、算数の補習支援を行っている。毎年約70名の児童が登録し、毎回、基礎問題プリントに取組み、「緑が丘応援団」の方には、自主学習の丸つけ等を通して、子どもたちをたくさんほめていただいている。励まされた子どもたちは意欲をさらに高めて学習に臨んでいる。



■活動の目的・概要

- 元八王子地区の将来を担う子供たちを育成することを目標として、学力向上や人格の形成を図る。
- 学校経営目標「来たくなる・規律ある・きれいな学校」の実現を目指し、学校支援事業を行う。様々な取組の中で、子どもたちの成長やその成果を振り返り、よりよい学校運営協議会の方向性・運営の仕方を定着できるように取組んでいる。



■活動の特徴・工夫

○はちっこボランティアを活用した学校支援活動

- ・平成30年度から、学校支援の人材を地域から広く人材を募集し、授業や朝学習、清掃活動など、普段の学校生活で子どもたちを大人が支援し、充実した活動になるように取組んでいる。

(1) 丸付けボランティア

算数ベーシックドリルや補充プリントを子どもたちがすすんで取組み、丸付け支援を行っている。

(2) 清掃活動支援

掃除の時間に子どもたちにほうきのはき方や雑の拭き方を教えたり、頑張っている子どもに声をかけたりして、清掃活動への意欲を高めている。

(3) 校内安全ボランティア

5分休みや中休み等、子どもたちの校内生活の様子を見守る支援を行っている。

○児童会活動や学校行事と連携した学校支援活動

(1) 校内美化活動

環境美化委員会と連携して、中庭の花壇に花を植える等の校内美化活動を行っている。

(2) アメリカ・コロラド州・ダン小学校と元八王子小学校の交流支援を行う。ホームステイの受け入れやダン小学校児童の来校時の予定等、日程調整を行っている。

○地域・家庭等、大人の教育力の向上に向けた研修会

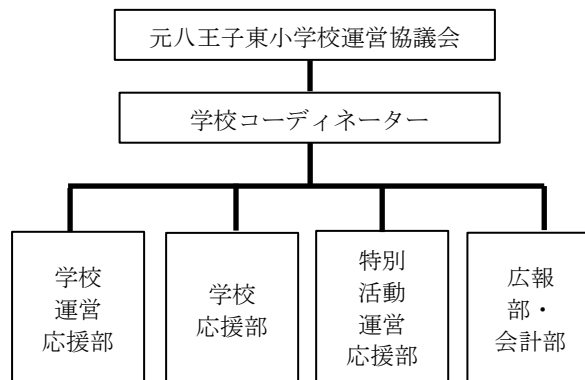
- ・平成30年度から、発達障害をもつ子どもたちに関わる特別支援教育研修会を行っている。また、気になる行動が見られる子どもや日常生活や学習で困っている子どもへの対応・情報交換や学習支援・生活支援の仕方を学んでいる。



■活動の目的・概要

○将来、地域を背負っていける子どもたちを育てていくことを目的に、地域と連携した学力向上、自己肯定感の醸成、自他愛に満ちた子どもの育成について協議を重ねる。

○学校が地域にできること、地域が学校にできることを考え、お互いを補完できるような活動を目指し、学校と地域が一体となって学校・地域の活性化を図るよう、様々な活動に取り組む体制を構築する。



■活動の特徴・工夫

○園芸ボランティア

- ・学校環境の充実のため、園芸ボランティアの方が学校花壇への花植え活動を行っている。また、児童に花の植え方等について教えていただいている。四季折々にきれいな花が彩られ、子どもの豊かな情操を育てることにつながっている。



○図書ボランティア

- ・学校図書館の充実のため、図書ボランティアの研修会を毎月実施し、図書の補修や図書室の掲示の装飾などを行っている。季節に合わせた装飾をすることで、楽しく、読書に親しみたくなる環境となっている。また、読み聞かせを行い、児童の読書意欲を高めることにつながっている。



○東小スタディ

- ・平成30年度から、毎週金曜日の放課後、放課後子供教室「東小スタディ」を実施している。地域の方に学習ボランティアとして御協力いただき、それぞれの子どもの習熟に応じて基礎学力の定着を進める取組を行っている。一人一人個別のファイルを作成し、自身で取組んだ足跡が振り返られるようにして、努力を続ける大切さを感じるとともに学力の定着につながっている。



○漢字検定

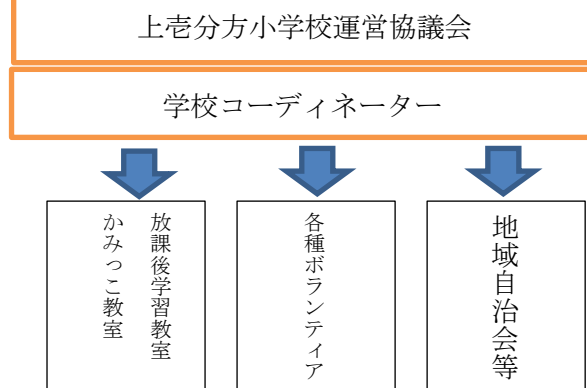
- ・漢字検定を夏と冬の2回実施しており、延べ100人以上が参加している。漢字を学ぶ意欲を高めるとともに、基礎学力の向上につながっている。



■活動の目的・概要

○学校の教育目標の一つである「地域とともに歩む学校」の実現に向け、地域社会と学校の連携を促進し、「地域を愛する児童」の育成を図る。

- 1 学校・保護者・地域が連携して、有意義な教育活動を行い、生き生きとした子供たちを育てる。
- 2 自尊感情教育を育むために、児童の学力向上に寄与する。



■活動の特徴・工夫

○学校・保護者・地域が連携した有意義な教育活動

・放課後学習教室『かみっこ教室』

平成29年度より開始。放課後に希望する児童を学校に残し、宿題や家庭学習等の課題を各自持参させて、学校運営協議会委員や地域ボランティアを中心とした「指導員」による補充の指導を実施している。参加児童の人数が多くなりすぎ、必然的に指導員の増員を行った結果、謝礼金予算が不足してしまったことから一時的に実施を中止した。本校児童の特性の把握や効果的な指導方法の検討を通して、地域社会全体における今後の子育ての在り方まで含めて話し合う機会とすることができ、参加児童の募集の際、「かみっこ」の運営方針を保護者に周知徹底することや、学習規律を確立することが大切であると確認できた。今後は土曜日に開催することを検討し、さらに地域住民や保護者の参加をより容易にする条件を整え、推進していく。

○児童の学力向上と自尊感情の育成

・漢字検定

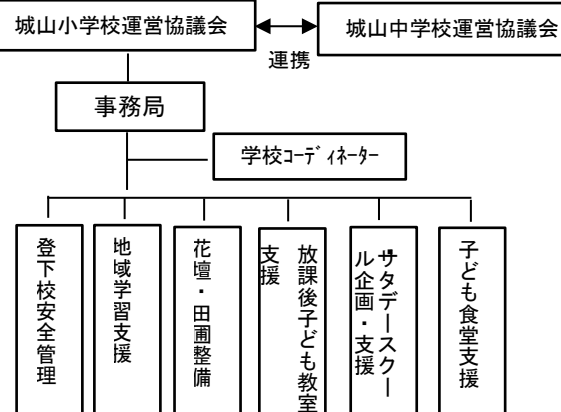
平成29年度より開始。本校の全児童に受検者を募り、漢字検定準会場として登録し、実施している。その試験官を、学校運営協議会委員が分担している。

これまでにのべ300人以上の児童が受検し、そのおよそ半数が合格することができた。この合格率は各家庭での保護者の教育の成果である。そこで、学校運営協議会としては、合格証とともに漢字検定協会から送付されてくる表彰状に加えて、独自の基準（受検回数、得点率、合格率等）で学校運営協議会会長賞、努力賞、校長賞等を新設し、より多くの児童が努力を賞賛される機会を創設している。

本校の児童の向上心がさらに高まるように図ったところ、回数を経るごとに受検者は徐々に増加している。今後ともこの取組を継続することで、児童だけでなく、保護者や地域住民等も含めた地域社会全体の意識の高揚と、自尊感情の醸成をさらに推進していくことを考えている。

■活動の目的・概要

- 教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」
《みんなでのびる城山の子》を学校・家庭・地域の三者協働により具現化していく。
- 城山中学校とつながり、小中合同の運営協議会を各学期1回開催し、9年間を地域が見ていく形で家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- 年間行動目標を「児童・教職員支援」とし、学校運営協議会として実施方法を協議し、遂行する。



■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会の「のぼり」

- ・学校運営協議会が設置されたばかりなので、まだ知名度が低い。そこで協議会の存在をアピールするため「のぼり」を作り、学校行事や地域行事などで保護者が集まる日に掲示している。

○サタデースクールの企画・運営支援

- ・サタデースクールは年8回計画されているが、保護者の実行委員は毎年交代するので運営方法がよく分からない上に、講師を依頼する地域の人脈を持っていない。そこで、学校運営協議会が企画段階から主体的に参加し、講師の折衝と運営の支援や地域の学習資源を掘り起こして活用している。

【主なプログラム】

- ①お神輿かつぎ(4月)
- ②投げ方教室(5月)
- ③ホテル鑑賞会(6月)
- ④グランドゴルフ(7月)
- ⑤親子クッキング(7月)
- ⑥かけっこ教室(8月)
- ⑦身近な森探検(10月)
- ⑧防災訓練(2月)

○地域との合同防災訓練

- ・従来は地元町会だけの防災訓練であったが学校運営協議会の設置を契機に学校、家庭、地域、行政と連携し小・中学生とその保護者も参加し、地域住民との合同防災訓練を実施している。
- なお、この防災訓練はサタデースクールのプログラムに組込んでおり、子どもたちが地域とのつながりをもてるよう工夫している。

○地域の史跡・旧跡マップ

- ・地域学習に役立たせるため学校運営協議会で「地域の史跡・旧跡マップ」を制作し、小・中学生の全家庭と教職員ならびに地域住民に配布し、地域のことを啓蒙している。特に新しく赴任された先生に地域のことを知ってもらう資料として活用していただいている。
(学校ホームページにも掲載)



学校運営協議会委員とのぼり



満席のホテル講座



地域の合同防災訓練



元八地域の史跡・旧跡マップ

■活動の目的・概要

○地域住民から式分方小学校への関心を高めることで、小学校を中心とした地域コミュニティの再生を目指す。

○子どもたちが、保護者や教職員だけではなく、多くの大人たちと出会い、活動をとものにすることにより、地域と関わろうとする心、地域を大切にしようとする心の育成を図る。

式分方小学校 学校運営協議会 平成 30 年度活動目標

学校と保護者・地域が手をつなぎ合い、
心豊かで、地域を愛し、地域に生きる子どもの育成



■活動の特徴・工夫

○開校40周年記念式典、児童集会

- ・開校40周年記念行事に関連する取組を学校運営協議会が中心となって進め、記念式典や児童集会を盛大に執り行った。地域や卒業生など学校に関わってきた多くの方々から開校40周年を祝っていただいた。

○夏休み体験講座「わくわくサマースクール」の企画・運営

- ・夏休み中の児童の安全な居場所づくりとして「わくわくサマースクール」を学校運営協議会主催で開催している。地域人材を活用し、工作・手芸・理科実験・地域探索・各種球技・パソコン教室など、約20講座を3週間にわたって開催している。

○運動会でのジュース販売

- ・学校運営協議会の知名度拡大と活動の理解を図るために、平成27年度から運動会当日のジュース販売を行っている。
昼休みにはたくさんの保護者・地域の方に購入していただき、完売となった。

○にぶっ子応援ボランティアの募集

- ・広報紙で学校安全ボランティア及びちょこっとボランティア「草取り」の募集を行っている。「草取り」のちょこっとボランティアには地域・保護者の参加に加え、自らの意思で参加する児童もいて、地域の方々との良き交流ができています。(年2回実施)

○広報誌「にぶっこみゆこみゆ」を年3回発行

- ・広報誌を通して、学校運営協議会の活動報告、ボランティア募集等を行っている。

マスコット「かっぱいこ」



サマースクール
アートバルーンに挑戦してみよう



サマースクール
お手玉あそびをしよう



サマースクール
牛乳パックで作るカゴ



ちょこっとボランティア



運動会でのジュース販売

■活動の目的・概要

○横川地区の子どもである横川小学校・横川中学校の児童、生徒を小中合同の学校運営協議会が中心となって、小中の教職員、PTA、青少年対策横川地区委員会等の各種団体との連携を強化し、地域ぐるみで育てていく。

- ・毎月1回の学校運営協議会の開催
- ・学力向上の手立てを図る（学習支援部）
- ・地域防災体制の確立に向けた活動の推進（地域連携部）

横川小中合同学校運営協議会

学習支援部

- ・学習教室
- ・漢字・英語検定
- ・日常の学習支援訓練

地域連携部

- ・地域防災
- ・小中合同引取り訓練

■活動の特徴・工夫

○3年生対象夏休み・放課後学習教室

- ・平成29年度から、夏休み期間中の7日間に4教科（国語・数学・理科・英語）、11月～2月の4か月に週2回4教科（国語・数学・理科・英語）の放課後学習教室を実施している。

登録ボランティアの方に講師として協力いただき、夏休みは1・2年生の学習の復習、11月から2月は実力の定着に向けた学習を行っている。受講した生徒からは「計画的に学習に取り組むことができて良かった。」等の感想がある。



○漢字検定・英語検定の実施

- ・PTAの協力を得て、漢字検定・英語検定を年間3回実施している。小学生、中学生だけでなく、保護者もできるように募集をかけている。年度の終わりの保護者会では、次年度の予定を配布し説明するなどして、計画的に取り組むきっかけとなるよう、保護者にも早めにお知らせをしている。



◆夏休み学習教室の様子

○教員との連絡会

- ・教員と学校運営協議会との効果的な連携と円滑な活動推進を目的として、学校と学校運営協議会との連絡会を開催。日頃の先生方の活動を聞きながら、学校運営協議会として、どんなことが支援できるのか考えるきっかけとなるとともに、先生方に学校運営協議会のことを知ってもらう良い機会となっている。

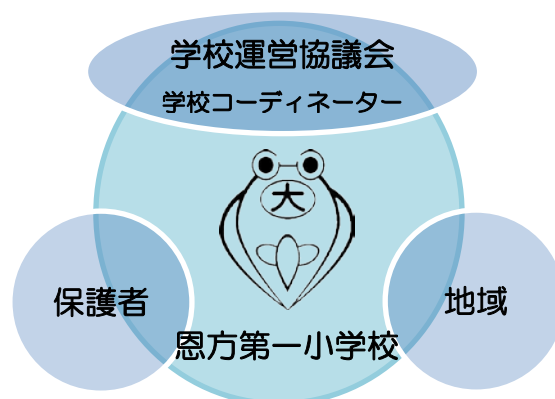
この会を通して、学校の課題の理解や先生たちとの相互理解が深まることで、学校運営や学校支援の充実につながり、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を支える体制を築き上げている。



◆連絡会の様子

■活動の目的・概要

- 恩方第一小学校の学校経営方針の具現化をめざし、学校・保護者・地域が協働する学校づくりを実現する。
- ・学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・広報活動により、地域運営学校の主旨や活動内容について積極的に周知するとともにボランティアの人材発掘を図る。
- ・学校と協働して、学力向上の取り組みを行うことで、児童の学力の向上を図る。



■活動の特徴・工夫

○地域清掃活動

- ・青少対恩方地区委員会やPTAなどと連携・協働して年3回の地域清掃活動を実施している。児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員が協働して行う清掃活動を通して、相互の交流を図るとともに、地域を知り、地域を愛する心を養っている。



○恩ertime支援（放課後学習ボランティア）

- ・恩方第一小学校では、平成30年度から、毎週月・木・金曜日の放課後に「恩ertime」を実施している。恩ertimeでは、東京ベーシックドリルを中心にドリル学習を行うことになっており、学校運営協議会としてボランティア募集に協力するとともに、丸付けボランティアとしても活動している。ボランティア募集では、学校周辺の町会に協力を要請し、町会長をはじめ、多くの方に協力していただいている。地域のおじさん、おばさんにほめられたり、励まされたりする経験を通して、児童の自己肯定感を高めている。



○サマースクール支援（学習ボランティア）

- ・夏季休業中に学校で実施するサマースクールの運営を支援している。放課後学習の恩ertimeの夏季休業版であり、学習時間が長時間になる活動である。学校運営協議会として、ボランティア募集を行ったり、丸付けボランティアとして児童の学習プリントの丸付けを行っている。



■活動の目的・概要

- 八王子市の教育目標の「あふれる元気・かがやく心・仲間とともに・はばたけ未来へ」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。
- 地域住民や保護者に対し、恩方第二小学校学校運営協議会の運営目標や協議結果を積極的に情報提供していく。
- 学校運営協議会を年11回行い、学校の運営を参観し、行事等に参加する中で、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。
- 年間行動目標を「地域の特性をさらに生かした学校運営」とし、学校運営協議会として協議を行う。

恩方第二小学校学校運営協議会

学校・地域・家庭

学校コーディネーター
学校サポートチーム
学校安全ボランティア
教育支援ボランティア
放課後子ども教室

図書ボランティア
漢字検定
町会行事
クリーン活動
上恩方夏祭り

■活動の特徴・工夫

- 地域の教育力の高い学区であり、メンバーは学識経験者、町会長民生児童委員など地域を支える方が委員となっている。学校を運営するより、より良くするために活動したいという方が多い。「困っているときは、手を差し伸べる」をモットーに、次々に活動している。

○星とおひさまF I K Aキャラバン招へい

- ・いじめに対する学校側の対応が低い評価を得て、まず保護者同士の信頼関係を深めるところから始めてはどうかとのご意見をいただき、話し合いをコーディネートするF I K Aキャラバンの皆さんをお呼びし、意見交換会を開催。

○災害に対する対応

- ・土砂災害、雪外に見舞われる土地柄で、どのような対応が可能か話し合い、学校対応がかなり改善された。合同地域防災訓練では、防災会会長とも緊密に話し合い、全児童、教職員と地域との防災訓練を実施している。

○野菜作り

- ・教員との意見交換会を年1回実施。そこで出された「飯ごう炊さんに使う野菜作りに苦労している」との意見により地元農家の方の畑で野菜作りを教わり、ジャガイモは収穫した量で贈るようになった。

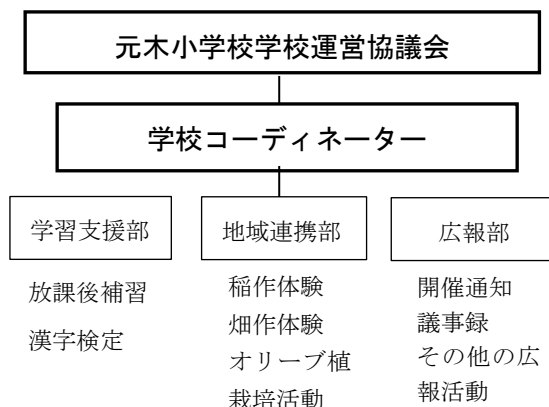
○上恩方夏祭り

- ・小学生がいない地域の方と恩方第二小の児童とのつながりが希薄なため、盆踊りを介護予防教室の皆さんと踊る会を立ち上げ、夏祭り実施に向けた取り組みを進めている。



■活動の目的・概要

- 地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成することを目的に、学力向上や地域と連携した「生きる力」の育成について熟議を重ねている。
- 学校運営協議会の運営目標である「学校と地域とのパートナーシップを確立し、学校・地域・保護者が一体となって学校・地域の活性化を図る」をモットーに、多様な活動を地域全体で行う仕組みを構築している。



■活動の特徴・工夫

○水曜放課後補習

- ・従前から毎週水曜日に3～6年生の希望者を対象に実施していた放課後補習教室を、平成29年度から学校運営協議会が実施主体となって活動を展開している。地域の方に学習アドバイザーとして協力いただき、基礎学力の定着に向けて、学習の躓きをなくす取組を行っている。児童は意欲的に参加し、「できる・わかる喜び」を味わっている。



○NPO法人小津倶楽部と連携したオリーブ栽培活動

- ・平成29年度から、3年生を対象にNPO法人小津倶楽部と連携した農業・林業体験活動（コースターづくり、薪割り体験等）を実施している。耕作放棄地を活用した農業活動では、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が立会いのもとで、児童・保護者が参加し、オリーブ植樹祭を実施。60本のオリーブが植樹され、その成長を見守っている。植樹されたオリーブの管理は、日本オリーブ協会の指導により、市の協力のもと、学校、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が連携して行っている。今後3年～5年の期間の生育状況を見て農業として成り立つかを検証していく構想である。
- ・オリーブのほかにも、小麦の畑作を行っており、収穫した小麦を原料としたうどん作りや石臼挽き体験等の体験学習を展開できないか検討していく。



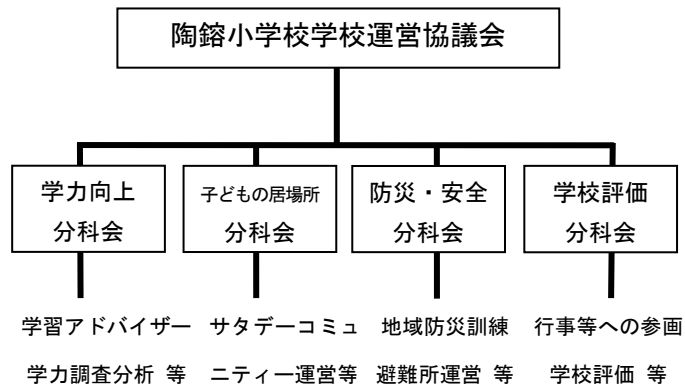
H30.02.03 大雪 極寒の中
頑張ったオリーブ



H30.04.24
発芽第1号を確認！

■活動の目的・概要

- 「進んで学び、粘り強く自己を高める子どもを育てる学校づくり」「子どもの社会性を育てる地域づくり、安心・安全な地域づくり」を推進するために、年11回の定例会での審議のほか、学校や地域のイベントに参画する。
- それぞれの分科会がコーディネーターとして地域・家庭・学校を協働させ、知育・徳育・体育の調和のとれた「真の学び舎」を目指した取組を実施している。



■活動の特徴・工夫

○陶鎔サタデーコミュニティー

- ・子どもたちの「サードプレイス（心のよりどころとして集う場所）」の実現を目指し、毎月第1土曜日に実施している。PTAサタコミ委員会を中心に運営を行い、地域の方を指導者として、様々な体験的な活動を展開している。



「手織り」「和太鼓」「スポーツ」「合唱」等の講座を開設し、100名以上の子どもたちが活動に参加している。さらに「陶鎔小学校おやじの会」との共催で、夜の学校を巡る「ナイトツアー」や「餅つき」を毎年実施し、400名以上が参加する地域行事となっている。

○陶鎔小学校区防災訓練

- ・犬目町会と学校運営協議会の共催で、八王子消防署、八王子市防災課と連携し、学校の避難所運営マニュアルに沿った地域防災訓練を実施。



学校施設の開錠から避難者名簿の作成までを実際に体験したり、仮設トイレ等の設置訓練など、実践的な訓練を実施している。

○学習アドバイザー

- ・学習指導や児童の心理について見識の深い委員が、週1回「学習アドバイザー」として、各学級を巡回している。学校生活になじめない子どもや学習に困難を感じたりしている子どもたちへのサポートや教員への指導方法について具体的なアドバイスをを行っている。



○「どんぐり山」「心の池」の改修工事

- ・おやじの会との連携により、29年度は「どんぐり山」、30年度は「心の池」の改修工事を実施。工事に必要な原材料となる砂利や砂、コンクリート、丸太等については、八王子市の提案型予算により出資したが、人件費をゼロにするために、おやじの会のメンバーが、熱心に工事に参加して、それぞれ一年近くかけて完成した。引き渡し式は、全校児童の参加で盛大に行われた。



■活動の目的・概要

- 地域の教育資源を活用し、児童への学力の保証を行う。児童の豊かな心の育成を図る。
- 学校、地域、保護者が協働した教育活動を行う。
- 計画的に人材を活用できる組織を作る。



以上の目的のもと、お互いに意見を交換し合いながら教育活動の充実を図る。

○構成委員

- ・ 地域関係者
各町会長、民生児童委員、育成指導員
子ども会会長
 - ・ 保護者
 - ・ 学識経験者
 - ・ 校長
- ※学校関係者として副校長、主幹教諭が参加
必要に応じて、主任教諭や教諭も参加

■活動の特徴・工夫

○家庭学習のてびき

- ・ 学校運営協議会、学校、PTAが協働して家庭学習の手引きを作成。
学校と家庭の学びの連携を図ることで、確かな学力の定着を目指している。
保護者向けの内容だけでなく、子どもたちに向けて、学年ごとに家庭学習の進め方や内容についてもまとめている。

○地域参加型行事、保護者参加型活動の推進

- ・ 学校行事への意見等をいただくとともに学校への関心を高めてもらう機会を設けている。
- (1) 運動会での地域参加型競技の導入
- (2) 地域の稲作栽培活動への児童参加
- (3) 学校運営協議会と共催で道徳授業地区公開講座を開催

○学校運営協議会を介し、地域行事へ子どもたちが参加している。

- ・ 子ども獅子を町会の夏祭りで披露
- ・ 炭焼き体験でできた竹炭と農業体験で育ててできた野菜を農事センター祭りで販売

○ボランティアの募集

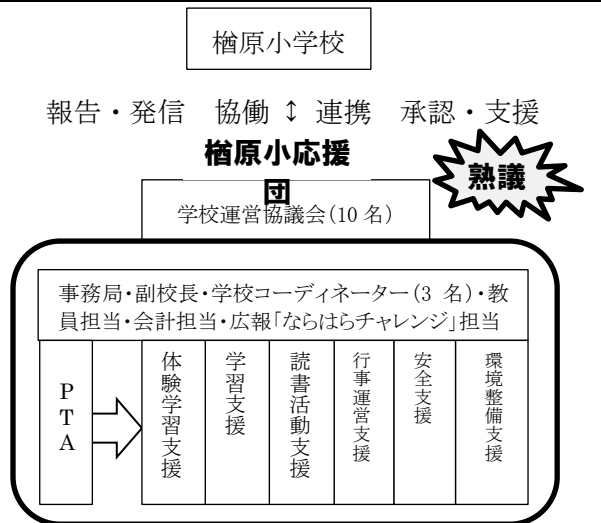
- ・ 学校運営協議会で協議した学校支援活動等を実施するために、学校コーディネーターと連携し、地域人材の募集をしている。学習ボランティアやサマースクールなど学校運営協議会も積極的に参加し、充実した取組を展開している。



活動の目的・概要

○子どもたちの幸せのために、人と人をつなぐ。そして、既にある檜原の素晴らしい豊かな資源（自然・人材）を活かし、各々が成長できるような学びの環境をつくるため、以下の3点を活動の指針とする。

- 1 豊かな自然環境を利用した、「体験学習の場」と仕組みづくり
- 2 学校を含めた地域の人々との、「温かな交流の場」と仕組みづくり
- 3 個性に満ちた一人一人の児童が、たくましく成長し、自分らしく輝けるよう、「見守り支える場」と仕組みづくり



活動の特徴・工夫

○広報活動・情報共有

・地域運営学校としての取組を学運協だより「ならはらチャレンジ！」で発信。学校だよりやPTA通 信でも紹介している。また、自治会や青少対の情報ははじめ、地域の行事についても、校内や各家庭に発信し、情報共有を図っている。また、地域運営学校としての理念と目的意識を共有するために、全教職員との「熟議」を行っている。

○地域人材・地域団体の活用

・学校コーディネーターを中心に、保護者・地域からボランティアを募り、教育の充実を図っている。教員・保護者以外の人との交流が、子どもたちに新たな学びや多様な人と関わる機会となっている。また、保育園・幼稚園に児童が仕事体験をさせていただいていることで、保幼の先生方が学校参観に積極的に来てくださり、保幼小の交流が深まっている。

PTAでは毎年「防災キャンプ」を実施しているが、ここに地域防災の視点が入り、平成30年度より、檜原小学校を中心とした地域合同防災対策の準備を開始している。

○学校支援活動

・従来からのPTAや地域による支援活動（学校行事支援や安全見守り、読書活動、体験活動の支援など）に加え、特に次の3点に力を入れて活動を推進している。

【花壇「ハピネスガーデン」の整備】：平成29年度の市制100周年「都市緑化フェア」に合わせて、地域・保護者・教職員・児童で放課後の時間に花壇整備を開始。

【漢字検定の実施】：平成29年度より学運協主催で年に2回実施。

【学習支援】：総合や家庭科等の実習授業や校外授業、プール等の支援を行う。また、放課後子ども教室「檜っ子クラブ」にも学習アドバイザーを配置し、児童の見守りと支援を積極的に行う他、授業や放課後子ども教室に専門家を呼び、教育の充実を図っている。

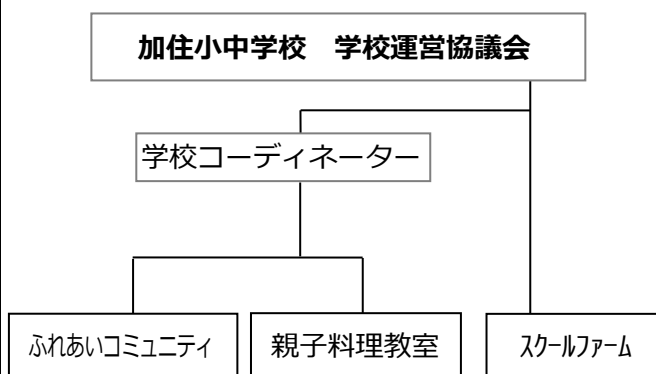
これまで、東京八王子ビートレインズによるバスケットボール指導や元宝塚歌劇団女優による表現指導と講演会などを行っている。



■活動の目的・概要

○小中一貫校における9年間を通した教育を推進していく上で、学校の応援団として、基本的な計画や基本的な方針を承認するとともに、教育活動に必要な地域の人材を確保する。

○地域運営学校ならではの特色ある取組（加住ふれあいコミュニティ・親子料理教室・スクールファーム等）を学校・保護者・地域の連携の中で推進していく。



■活動の特徴・工夫

○親子料理教室（小・中学部）

- ・本校学校運営協議会では、子どもたちの健やかな成長を願い、「早寝・早起き・朝ご飯、協働で広げよう家族の会話」をコンセプトに、親子料理教室を開催。講師には学校の栄養士さんを迎え、地域で生産された食材を活用し、季節感あふれるメニューを調理している。平成30年度から、小学生のみならず、中学生にも参加を促し、小中学生と保護者の方々がともに集い、なごやかな雰囲気取組んでいる。



○スクールファーム（中学部の取組）

- ・地域の方の協力のもと、総合的な学習の時間を活用し、スクールファーム（農業体験）に取り組んでいる。栽培した野菜は、宿題として家に持ち帰った後に、料理・レポート作成を行い、学習発表会で掲示することで、地域の方にも成果を見ていただく機会を設けている。

スクールファームが生徒と地域の方とが関わるきっかけとなっており、人の輪が広がっている。



■活動の目的・概要

- 地域運営学校として、広報・啓発活動を推進し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを目指す。
- 地域人材を活用し、学力向上・自然観察・農業体験・地域伝統芸能等について学ぶ活動を推進する。
- 小中一貫教育の取組みを推進する。

由井第二小学校学校運営協議会

広報

学び推進部

遊び推進部

小中連携推進部

保・幼・小連携推進部

教職員

地域

PTA

近隣小中学校

■活動の特徴・工夫

○放課後子ども教室

- ・毎週水曜日に「放課後子ども教室」を開催。毎回70～100名程の児童が参加している。現在はシルバー人材センターを活用しているが、今後活動の拡大を図るために、地域のボランティア募集や活動の周知方法について協議を進めている。

○漢字検定

- ・平成30年度から、年間3回、金曜日に漢字検定を実施。約100名の受検者があり、検定当日には、地域のボランティアに協力いただき、運営を行っている。漢字検定の実施を通して、基礎学力の向上や漢検に対する意識が定着してきている。



漢字検定

○小中一貫で行っている取組の推進

- ・小中一貫教育の取組として、由井中学校・由井第二小学校・由井第三小学校・片倉台小学校が連携し、海洋パイオニア・スクールプロジェクトを実施。大学教授を講師に招聘し、出前授業を行っている。八王子には豊かな自然環境があるが、海は無い。海に身近ではない地域だからこそ、海について理解を深め、陸とは違う生態系や資源等について知ること、広い視野を持て、日本についての学びを深めている。

○地域行事への参加

- ・青少対主催のCC大作戦（地域清掃活動）へ毎年参加。地域の方との交流の機会となっている。
- ・地域のお祭りへの参加の働きかけ（チラシの配布など）を行い、地域行事への積極的な参加を促している。



海洋授業

■活動の目的・概要

○地域の教育資源を活用しながら、本校の特色ある教育活動である「夢大地の取組」（自然観察・農業体験・地域伝統芸能習得活動等）を継続し、さらなる充実を目指す。

○八王子市立由井第三小学校地域避難所自主運営組織を設置し機能強化を目指す。

○年2回の学校運営協議会委員による授業参観を設定し、さらなる授業改善に努める。

「安全・安心」部会

○校内施設・設備の安全点検・改修等促進

○通学路等、校外環境の安全確保

○児童を見守る体制の充実

「夢大地」部会

○夢大地の取組

○地域の調べ学習、昔遊びの支援

○副読本「ふるさと小比企片倉夢大地」の活用

「学び・子育て」部会

○学校運営協議会委員による授業参観

○子育て支援活動

■活動の特徴・工夫

○夢大地（スクールファーム）

・本校の特色ある教育活動「夢大地の取組」は、学校運営協議会設置に伴い、より一層充実した活動となり、学校周辺の豊かな自然、伝統文化理解につながる教育が更に充実している。

3年生では学校内の畑と地域の方からお借りしている畑を利用し、さつまいもを栽培。5年生では広大な田んぼで、しろかき、田植え、水の管理、雑草抜き、稲刈り、脱穀、注連縄作り等の稲作体験学習を行っている。

毎回、十数名の地域の方のご指導の下、様々な作業を体験することで、お米をすることの大変さ、難しさ、収穫した時のうれしさ、達成感を感じる機会となっている。子どもたちが育てた野菜やお米は給食の食材としても使用しており、食育の教材としても役立っている。

子どもたちは体験活動を通して様々な課題を見付け、解決するために情報を集めたり、友達と話し合ったりして、主体的・対話的で深い学びの育成につながっている。また、自分の町の良さをより一層理解し、郷土愛が生まれ、未来を担う子どもたちが育っている。



豊年太鼓（6年）



サツマイモ苗植え（3年）



縄ない（5年）



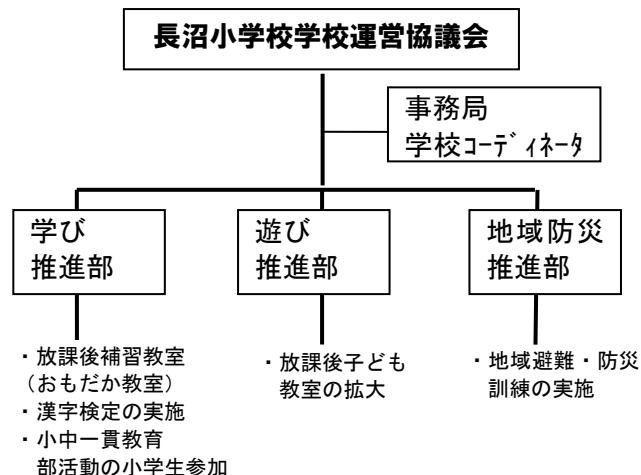
稲刈り（5年）



田植え（5年）

■活動の目的・概要

- 学校運営協議会の運営目標の柱を、学校・保護者・地域で子どもと一緒に育てる『共育』（ともいく）とする。
- 子どもの学力の向上、放課後の子どもの居場所の確保、防災教育の推進という3つの運営課題の解決のために、具体的取組を計画・実施する。
- 会長、副会長、事務局（コーディネーター）を置き、委員が「学び推進部」「遊び推進部」「地域防災推進部」の3つの組織に分かれて活動する。



■活動の特徴・工夫

○放課後補習おもだか教室

- ・平成27年9月から、毎週木曜日15時30分～16時30分に高学年児童を対象として基礎・基本の定着を目的にした補習支援を展開している。地域・保護者から学習ボランティアを募り、東京ベシク・ドリルを活用して個別指導を進めている。専用の出席カードの配布や年度末には修了証を発行するなど、子どもたちの参加意欲を高める工夫を凝らしている。教室に訪れる子どもたちから地域のボランティアの方に、「〇〇さんこんにちは、よろしくお願いします。」という言葉が自然に出てくるようになり、地域の方と子どもたちとの交流も深まっている。



○放課後子ども教室の拡大

- ・水曜と金曜の週2回実施。地域の安全管理員は20名を超え、子どもの参加数も年々増加している。体育館での学習や校庭で元気に遊ぶ子どもの姿が多くなり、子どもたちの放課後の居場所の確保だけでなく、学力や体力の向上にもつながっている。



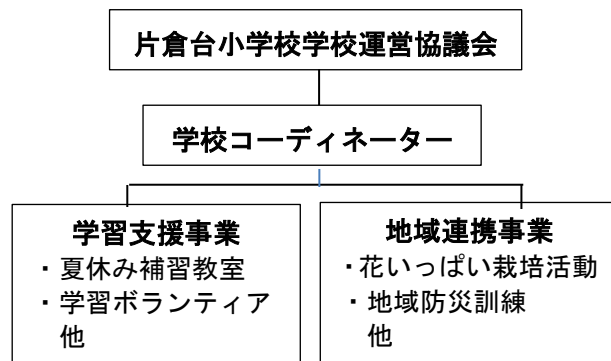
○長沼小学区地域避難・防災訓練

- ・不測の事態に備え、災害に強い地域の構築を目指して、平成24年度から学校と地域が協働して行う防災訓練を実施。学校運営協議会の協議において提案された、PTAの参加促進や中学生ボランティアの活用等を実現し、毎年約400名を超える地域住民・保護者児童が参加する規模となっている。



■活動の目的・概要

- 教育目標の「心も体も健康な子・すすんで助け合う子・よく考えて実行する子」を学校・家庭・地域の協働により達成することを目指す。
- 学校運営協議会を年8回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- 「地域の特性を生かした教育支援体制の推進」を年間行動目標に位置付け、学校運営協議会と学校で協働して活動する。



■活動の特徴・工夫

○夏休み補習授業・学習ボランティア事業

- ・平成29年度から、夏休みの補習学習に学校運営協議会の協力を得ながら補習授業を実施。地域の方に学習アドバイザーとして協力いただき、基礎学力の定着に向けて、学習の躓きをなくす取組を行っている。また、2学期から3学期にかけ、日常の授業にも学習ボランティアを配置し、算数を中心に困り感のある児童の支援に当たっている。地域の方が学習ボランティアとして児童の支援に当たること、これまでと違った児童の一面を発見することもあり、児童の理解につながっている。



○花いっぱい笑顔いっぱいの学校を目指した活動

- ・学校運営協議会の設置に伴い、「花いっぱいの栽培活動」をより地域の方々と連携した活動として実施している。月に一回程度、縦割り班活動として、地域の方にも各班に入ってもらい、児童と地域の方が一緒になって花壇の整備や花を植えたりしている。



○学校・家庭・地域・行政が連携した総合防災訓練

- ・学校運営協議会の設置を契機に、地域と学校、関係団体が一体となって災害に立ち向かう体制づくりを行うため、学校や自治会が個々に行っていた防災訓練をより連携を深めて実施している。訓練は授業の一環として全校児童が参加している。縦割り班に分かれ、地域や保護者の方と一緒に体験コーナーを回って体験訓練を行うことで、地域のつながりが深まり、お互いの顔を知ることができるように工夫している。訓練では、市や消防と連携して、応急救護や初期消火、避難所運営体験など、本格的な訓練となっており、学校を拠点とした防災体制の確立につながっている。



■活動の目的・概要

高嶺小学校学校運営協議会が目指す 児童像と子育て環境			
どの子も健やかに育ち たくましい骨太つ子に (健やかな心身)			
○「確かな学力から自信へ」 自尊感情の育成		高嶺小学校学校運営協議会	環境美化部
○「多様性を認める他者理解」 協働する力の育成・インクルーシブ教育の推進			学習支援部
○「認められる体験」 豊かな体験活動の推進			体験活動部
○「一人で抱え込まない子育て」 ともに育てる環境づくり			安全対策部
○学校・保護者・地域が一体となった子育ての推進			子ども 保護者支援部

■活動の特徴・工夫

○地域の方々による放課後補習教室「くすの木教室」

・平成27年度から、月曜日：3・4年生、金曜日：2・5・6年生を対象として、各教室で放課後補習教室を実施している。教材は、東京ベーシック・ドリルの算数を活用し、「算数の基礎的・基本的内容を確実に習得し、学力の向上を図ること」「学校と地域の連携を深めること」をねらいに、地域の方々に指導員になっていただき、丸つけ等を行っている。

一人一人の児童が算数の既習事項の中で、理解出来ているところと理解が不十分なところを把握するために診断テストを行い、放課後補習教室の時に理解が不十分なところのプリントを選択して取り組むことができるように工夫している。

指導員の方々の熱心な御指導により、間違えたらやり直し、合格印がもらえるまで粘り強く学習することで、児童にとっては苦手意識を克服しながら、成就感や達成感を感じられる大切な時間となるとともに、地域の方との温かな関わり合いが生まれている。

このように、高嶺小学校では学校だけでなく、地域の方々に御協力をいただきながら、一人一人の児童の学力向上に向けて取り組んでおり、今後も指導員の方々をはじめ、保護者や地域の方と一緒に様々な課題等について話合う機会を持ちながら、児童の学力向上等に向けて、さらなる改善を図る。



■活動の目的・概要

- キャッチコピー「ふるさと高尾、ふるさと浅川、心豊かな浅川の子」を掲げ、自ら進んでやりぬき、思いやりを持ち、助け合う、健康で明るい子どもを、特別活動を基軸にし、みんなで話し合い、実践して振り返る活動を重視しながら、育成を図る。
- 地域の教育力を生かし、オリンピック、パラリンピック教育に対し、みどりあふれる高尾の自然を活用した地域力と協働力による展開を図る。
- 教職員及びPTA、地域の関係諸団体と緊密に連携し、子どもの実態や主体性に沿った支援を行う。

浅川小学校学校運営協議会

チーム あさかわ

★ あいさつチーム★

～あいさつ運動など、
地域ぐるみの運動～

★ さがそうチーム★

～地域人材・
学習素材～

★ かがやきチーム★

～個性伸長、
基礎学力向上～

★ わをつなごう

チーム★
～地域や、組織との連携～

■活動の特徴・工夫

- キャッチコピー、あさっこマーク、あさっこTシャツ等の販売

・学校運営協議会の活動は、常時活動の学校サポーターや行事ごとの係の担当、日本語検定の実施などの折節に行うものがある。しかしながら、多様な学校内外の組織や連携活動がある中で、保護者も含めた町会・地域などの一般の方々が学校運営協議会を認知することは難しい。

学校運営協議会が学校を陰から支えているという面も大事ではあるが、活動を活発に展開し、充実させ、さらに次世代の学校運営協議会委員の育成を図る観点から、活動や主旨を広く周知し、協力体制を充実させるPR活動も必要である。そこで本校では目指す児童の活動や様子を想起させる「キャッチコピー」を定め、活動時のアイキャッチ的なモチーフとして「あさっこマーク」を作成した。

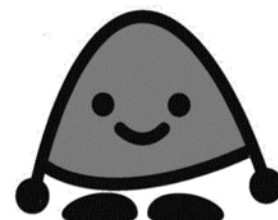
さらにあさっこマークを用いたTシャツを作製し、学校運営協議会委員は緑色、教職員は黄色、PTAはピンク、児童は好きな色を選んで着用している。その他にもスウェット、パーカー等も作成しているが、特にTシャツについては児童が通学や運動会などの行事の折に着用し、一体感を生み、活動のPRにつながっている。

- ・平成30年度には、「3テング」のキャラクターを新しく開発・作成し、あさっこマークに続く、本校の代名詞となるように活用している。

運動会では、本校のオリジナルの踊り（作詞作曲も自校）で3テングのキャラクターをお披露目し、その後、学校運営協議会の予算で3テングハンコを作成して、学習やその他の活動の評価等で活用している。

キャッチコピー

ふるさと高尾、
ふるさと浅川、
心豊かな浅川の子



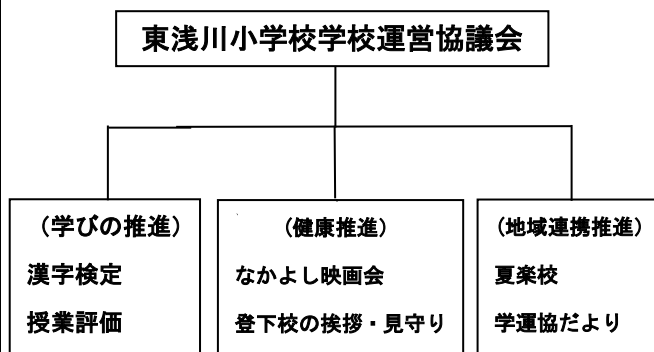
あさっこマークとTシャツ

運動頑張る 「いだてんぐ」
お仕事頑張る 「がってんぐ」
勉強頑張る 「まんてんぐ」



■活動の目的・概要

- 児童の学力向上に向けた取組を企画・推進する。
- 豊かな心を育む環境作りを推進する。
- 保護者、地域住民の学校運営への参加を促進し、地域に開かれた学校づくりを推進する。



■活動の特徴・工夫

○夏楽校

- ・1学期の学校公開に、“いのちについて考えよう”というテーマのもと、児童が日頃味わえない様々な体験活動を通し、日常生活の中でも生かされることをねらいとして事業を実施している。
- 内容は、昔遊び、バスの安全と乗車マナー、車椅子体験、AEDの使い方、戦争体験学習として毎年定着している。

○なかよし映画会

- ・2学期の学校公開で、人間関係をテーマとした映画鑑賞会を行っている。いじめや不登校、自殺等の現代社会の問題について取り上げ、親子で語り合い、ともに考え、自他の心に向き合うことをねらいとしている。

○漢字検定

- ・3学期に本校を準会場として実施している。確かな学力を身につけた子どもの育成のひとつとして、多くの児童の漢字力向上をねらいとしている。

○授業参観・授業評価

- ・学校公開での授業参観と授業評価を通して教師の授業力向上をねらいとしている。

○登下校の挨拶見守り

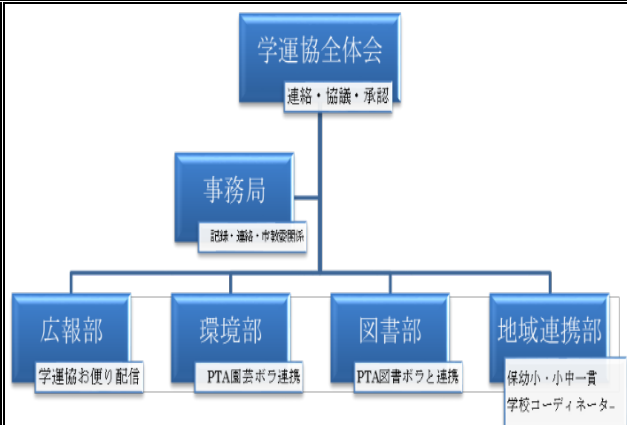
- ・大規模マンションや大型ショッピングセンターが通学路と近接していることから、甲州街道や町田街道、けやき通り等、通学路における登下校の挨拶見守りを通し、安全を図ることをねらいとしている。

○学運協だより

- ・月に1回の学校運営協議会の内容を、保護者や地域の方々に周知し、理解と協力を仰ぐことをねらいとしている。

■活動の目的・概要

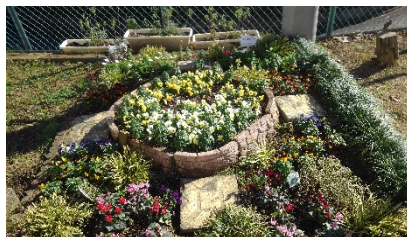
- 教育目標の「進んで学習しよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。
- 学校運営協議会について、地域住民や保護者に情報提供をしていくとともに、組織の活性化を図っていく。



■活動の特徴・工夫

○環境部の取組

- ・平成30年度から、学校運営協議会と保護者のボランティアが連携した園芸活動を通して、学校環境向上に取り組んでおり、配当されている学校運営協議会予算を活用し、大型プランターを設置。ガーデニングに詳しい保護者の方の協力を得て、月に1回、花壇の整備を行っている。プランターには秋冬の花や春咲きのチューリップなどを植え込み、登下校する児童達だけではなく、由木中央小学校前バス停を利用する地域の方々にも憩いの花壇としても親しまれている。3月の卒業式・4月の入学式で本校を羽ばたいていく卒業生の門出や希望に胸ふくらませて入学してくる新一年生達を咲き誇る花で彩れたらと願って活動を行っている。



○図書部の取組

- ・本校の言語能力向上の一環として、主に詩の暗唱と読み聞かせの2つの活動を行っている。
- 詩の暗唱では、児童が一人一冊詩集を購入し、通年で暗唱に取り組んでおり、その支援として、学校運営協議会と図書ボランティア、保護者、地域が連携して児童の暗唱チェックを行うことで、児童の言語能力向上の一助となっている。読み聞かせでは、毎週水曜日の読書タイムを利用して活動を展開しており、情操教育の充実を図っている。児童は、毎週の読み聞かせをとても楽しみにしており、集中してお話を聞いている様子が伺える。



■活動の目的・概要

○教育目標「見つめ 考え 言える子、ねばり強く やりとげる子、心も体もじょうぶな子、すすんで力を合わせる子」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

- 1 学校運営協議会を年8回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりをさらに推進する。
- 2 年間行動目標を「地域の良さを生かした運営体制」とし、学校運営協議会として協議を行う。

学校運営協議会

教育支援ボランティア部会

保幼小中連携部会

環境美化・行事部会

広報活動部会

■活動の特徴・工夫

○放課後子ども教室

・毎週水曜日と金曜日の放課後に実施。図書室や会議室、校庭、体育館を開放して、宿題や読書、体を動かすなどの活動を行っている。金曜日は日本棋院の方を招いて囲碁教室を開いている。



○保幼小中交流

・幼稚園の園児が展覧会や学芸会の参観と校内見学を行い、その際に5年生が園児のお世話をする。6年生は、多摩動物公園での「動物ガイド」を行い、保護者だけでなく、近隣幼稚園の家族も招いてガイドを行っている。中学校とは部活体験活動や、夏季休業中の補習教室にリトルティーチャーとして参加するなどの交流を図っている。



○図書ボランティア

・保護者から図書ボランティアを募り、図書室の整備や読み聞かせ等の活動を行っている。読み聞かせは、各クラスで、朝の時間を活用して実施している。



○スポーツフェスティバル・クリーン活動

・トランポリン・ボルダリング・丸太切り・カーリング・グランドゴルフなど、普段体験できないスポーツや昔遊びを体験する催しを開催。フェスティバルの後は、青少対・PTAとタイアップして、校庭と地域のクリーン活動を年2回実施している。



○学校探検(新1年生)・学校に泊まろう(4年生)

・新1年生とその保護者を対象に、学校案内と紹介を目的とした「学校探検」を実施している。オリエンテーリングのように、校内の各所に設置されたアトラクションを親子で回り、学校に慣れ親しんでもらえる企画となっている。



「学校に泊まろう」は4年生を対象としており、段ボールハウス製作・アルファ米カレー・消防体験、また天体観測・牛乳パックで作るホットドッグ作りなど、おやじ会が中心となって実施している。

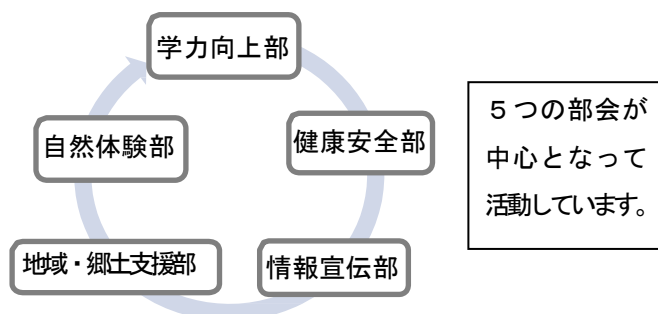


■活動の目的・概要

○由木西小だからこそできる「全人教育の実現」をすすめるため、学校運営協議会は、以下の役割を担い、学校教育活動を支援する。

- (1) 学校の基本方針について承認する。
(教育目標・学校経営計画・教育課程の編成・学校の組織編制・予算編成・施設管理等)
- (2) 学校運営や職員の採用・任用について校長や教育委員会に意見を述べる。
- (3) 特色ある学校づくりを推進するために様々な活動を行う。

由木西小学校運営協議会 組織図



■活動の特徴・工夫

○由木西小グリーンファミリーズ〈自然体験部〉

- ・学校林での自然体験活動を通して、子どもたちの生きる力や確かな学力を育み、毎日がワクワクする学校、それが「由木西小ワンダーランド」である。毎月、最終の土曜日か日曜日の午前中に活動しており、学校林の自然を維持・保全する活動を通して、由木西小の児童、保護者、卒業生、地域住民、教職員の交流促進を図ることを目的としている。また、グリーンファミリーズは「由木西小 緑の少年団」の指導・育成も行っている。



学校林保全活動

○交通安全ボランティア〈健康安全部〉

- ・子どもたちの登下校の安全を守るために毎日通学路に立ち、子どもたちと笑顔であいさつを交わし、コミュニケーションを図っている。



交通安全ボランティア

○地域の歴史研修会〈地域・郷土支援部〉

- ・教職員とともに、鑑水地区の歴史研修会を実施している。由木西小の前身となる鑑水学校の仮校舎となった永泉寺、南津鉄道が開通する予定だった跡地、絹の道資料館等を巡り、地域への理解と愛着を深めるとともに、学校運営協議会と教職員の交流の機会を設けている。

○由木西学びの会土曜教室〈学力向上部〉

- ・土曜日の午前中に行っている土曜教室では、東京ベーシック・ドリルを中心に、地域や学生ボランティアの方々と交流しながら学習している。学校運営協議会委員による「おもしろ算数教室」ではステップアップした算数を学んでいる。



学びの会土曜教室「おもしろ算数教室」



鑑水地区歴史研修会

■活動の目的・概要

- 鹿島小・松が谷小・松が谷中の三校合同で地域のあいさつ運動に取組み、鹿島・松が谷地域の連帯感を高める。
- 「地域内で会った人にはみんなで互いに挨拶」をコンセプトに、小中学生どうし、近所の人へ、知らない人でも道ですれ違った人へと、あいさつの輪を広げる。
- 青少年対策松が谷地区委員会と連携し、耐久性の高い挨拶看板を作成し、三校の学区内に掲示する。

○鹿島小学校運営協議会
○松が谷小学校運営協議会
○松が谷中学校運営協議会

青少年対策
松が谷地区委員会

鹿島連絡協議会

松が谷連絡協議会

■活動の特徴・工夫

○地域あいさつ運動

- ・平成29年度から、鹿島・松が谷地区合同で秋にあいさつ運動を実施。それ以前は期間を決めて、それぞれの学校の門であいさつをしていたが、29年度から「11月はあいさつ月間」を合言葉に、三校合同の学校運営協議会と青少年対策松が谷地区委員会が連携し、地区内のどこでもあいさつを交わす運動を実施している。
- ・平成30年度には、それぞれの学校で児童・生徒が「あいさつ標語」を考え、各校から全部で20の標語を選び、耐久性のある「あいさつ看板」を作成。学校運営協議員と青少対委員が協力し、駅近くや団地の敷地内への許可を取り、自校と他校のものを合わせて6枚（中学校は8枚）の「あいさつ看板」をそれぞれの学区内に設置し、あいさつ運動の推進を図っている。
- ・各学校では全校朝会等を利用して、児童生徒全員にあいさつの大切さと「あいさつ看板」の設置について周知しており、今後も形や時期などを工夫しながら、学校運営協議会と地域が協力して、あいさつ運動を進めていく。

○鹿島小代表の「あいさつ標語」

「あいさつは ともだちと なかよくなるよ うれしいな」
 「あいさつは ちゃんとできると うれしいな」
 「あいさつは みんなの元気 だれにでも」
 「あいさつは みんなをつなぐ 笑顔の輪」
 「『さようなら』それは明日
 大好きなあの子への『おはよう』のための言葉」
 「あいさつの キャッチボールで 元気広がる」



正門横に「あいさつ看板」を設置



学運协会会长と保護者と教師の
会会長で看板を設置



三校合同の学校運営協議会

■活動の目的・概要

○地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成することを目的に、地域や地域にある教育機関と連携して、心豊かな児童を育成していく。

○学校運営協議会の運営目標である「学校と地域との連携を確立し、学校・地域・保護者・教育機関が一体となって、生き生きとした活動を展開する」ことを目指して、地域や地域の教育機関と連携して、多様な活動を行う仕組みを構築していく。

松が谷小学校運営協議会

学校コーディネーター

教育部会	行事部会	地域部会
低学年英語活動	やきいも大会	あいさつ運動
放課後英語活動	スポーツ教室	防災訓練
補習教室	音楽祭	清掃活動

■活動の特徴・工夫

○低学年英語活動

- ・高学年の英語が教科となり、中学年からの英語活動も始まっているが、年齢が上がるほど間違えたら恥ずかしいという気持ちや自信のなさから積極性が薄れる傾向がある。そこで、英語にもっと早い段階から慣れ親しみ、恥ずかしがらずにできる低学年から英語活動を推進している。

1・2年生の全クラスでALTを入れた英語活動を、年間各クラス15時間実施している。これにより英語でのコミュニケーションを楽しみ、年齢が上がっても積極的に英語活動を楽しむようになっている。

○放課後英語活動

- ・松が谷高校のESS同好会による放課後英語活動を3年生・4年生を対象に行っている。ESS同好会の生徒さんとALT、顧問の先生が来校して、児童たちと英語でゲームや歌を楽しんだり、英語のフレーズを使って楽しくコミュニケーションを図り、英語への関心を高めている。



○松が谷・鹿島地区合同防災訓練

- ・大規模災害時に備え、松が谷中学校への一時避難、地区・団地ごとの行動等を訓練している。これまでは、学校や町会が個々に防災訓練を行っていたが、学校運営協議会の設置を契機に、地域一体となって災害に立ち向かう体制づくりを行うため、関係団体と連携して総合防災訓練を実施している。

住んでいる地域ごとに分かれて訓練を行うことで、地域のつながりを深め、お互いの顔を知ることができるように工夫している。

AEDによる救急救命、消火器使用訓練、アルファ化米炊き出し訓練等を行い、防災意識の向上、災害に備える知識・技能を習得している。



■活動の目的・概要

○学校・家庭・地域の連携を深める

家庭の教育力・地域の教育力を取り入れ、開かれた学校づくりに努める。

○個性を尊重する

子どもたちの個性を生かし、能力・適性に応じた活動を展開する。

○豊かな人間性を育てる

人間教育を基本に、福祉・ボランティア活動を推進する。

中山小学校学校運営協議会

学校コーディネーター

生き生き部会

環境整備・安全・食育

元気な子部会

イベントの企画・運営

のびのび部会

学習支援・行事支援

地域・校内支援団体

地域 評議員

おやじの会 ひまわりの会

放課後子ども教室

図書ボランティア

読み語りの会

■活動の特徴・工夫

○学校支援者カードの作成

- ・学校に様々なかたちでお手伝いいただける方には、支援者カードに登録していただいている。このカードをもとに学校で行う生産活動・農業体験・学習活動の場面等で地域の方に協力していただいている。

○楽校キャンプ

- ・毎年8月の第三または第四日曜日に、学校運営協議会主催のイベント「楽校キャンプ」を実施している。内容は、おやじの会の協力を得て行うプール遊び、ひまわりの会の協力を得て行う炊き出し訓練を兼ねたカレーづくり、夜のキャンプファイヤー、子どもや大人の出し物などです。参加者も年々増え、小学生・未就学児・中学生・保護者・地域住民を合わせて200名を超える地域行事となっている。



○地域交流講座

- ・中学校の学校運営協議会と協力し、様々な技術と趣味をもつ地域の方々を講師に迎え、小中学校を会場にして体験活動を実施。陶芸や生け花、絵手紙、和太鼓、木工船作り、竹細工等の講座を開設し、小学生も中学生と一緒に体験活動を行っている。

○環境整備

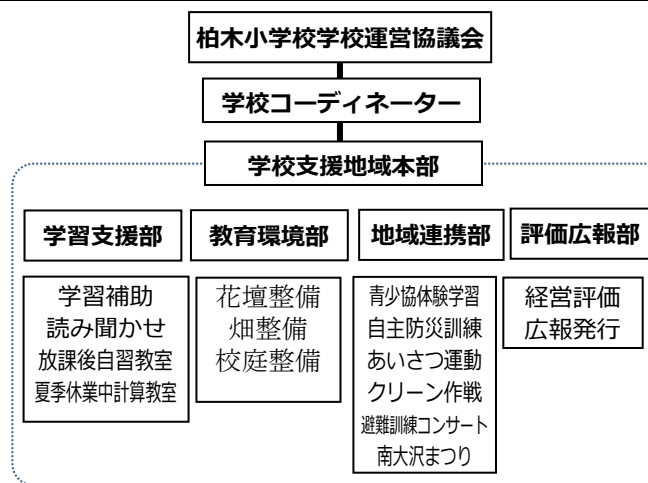
- ・学校の正門前の花壇の花植えや児童が大好きな校舎の裏のビオトープの清掃活動を実施。



■活動の目的・概要

○持続可能な地域づくり、自治力のある人材の育成を目指し「明日を生きる力を育むために」というテーマのもと、地域の将来を担う子どもたちを地域自らの手で育成することを目的とし活動している。

○学校運営協議会の役割である「学校と地域とのパートナーシップを確立し、地域全体で教育活動の質的向上を支援していくこと」をベースに、学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動等を行う仕組みを構築している。



■活動の特徴・工夫

○放課後自習教室

- ・放課後の学校施設を利用して週2日、その日に出された宿題プリントを頑張る機会を提供している。担任の知らない児童の一面を発見することもあり、その情報を先生と共有することで多面的な児童理解につなげている。



○避難訓練コンサート

- ・南大沢文化会館（近隣施設）との連携事業であり、子供たちがクラシックの曲を鑑賞する際に、コンサート会場で地震が発生したという想定で避難訓練を行っている。校外で避難訓練を行うことのできる貴重な体験となっている。



○昔遊び体験・伝統芸能体験

- ・1月に地域の方々の協力を得て、「昔遊び体験」を実施。こま回しやお手玉、けん玉等の遊び方やコツを丁寧に教えていただいている。3月に「南大沢囃子連」の方々をお招きして、お囃子体験を実施。全校朝会で披露していただいた後、4年生は、囃子太鼓のたたき方や踊り方、お面等について学ぶ。地域の方々と子供たちの交流の中での笑顔が印象的な活動である。



○花壇・畑・水田整備

- ・校地内に水田や畑を作り、地域の方の協力のもと稲や野菜を栽培している。収穫した野菜は給食食材としても使用し、食育にもつなげている。近隣保育園との交流も図っており、右下の写真は保育園の子どもたちが収穫にきた際のもので、保小連携にも栽培活動が役かっている。



■活動の目的・概要

○学校に対する地域の興味関心を高め、将来、地域の核となる学校づくりに向け、学校や学校と地域がともに考えるべき問題・課題を地域と学校がともに話し考える場（学校運営協議会）を中心に共同運営する地域運営学校を目指して、熟議を重ね活動を展開している。

○「みなみ会」（保護者と教職員の会）・南大沢地区3小中学校及び幼保育園・青少対南大沢地区委員会等地域諸機関との連携を図り、「地域の子どもたちを地域で見守り、地域で育てる」との意識のもと、多様な学校支援活動や放課後支援を行っている。



■活動の特徴・工夫

○教職員との合同の学校運営協議会の場で、教員から学習支援に関するニーズを把握し、地域の施設や人材との橋渡しの役割を担ったり、学校運営協議会委員自身が次にあげる活動等に加わり、児童保護者とともに汗を流す場面もある。

（１）農園活動

地域の方の大きな支援を受けて、全学年で農園活動に取り組み、特に稲作については、田んぼづくりから精米、米や稲わらの利用までご指導いただき、豊かな実りの喜びや農作業の体験をさせていただいている。



（２）保護者への制度理解支援

共働きの家庭が大半を占める保護者に対して、地域運営学校としての理解促進を図るとともに、「みなみ会」（保護者と教職員の会）や放課後子ども教室、サタデースクール等の学校が主体となっていない児童に関わる地域組織の活動について、学校説明会等において学校運営協議会委員が説明をする場を設けている。



また、毎月小中3校合同で挨拶啓発活動「おはようコミュニケーションデー」の開催や地域の保育園・幼稚園に学校や地域の行事についてまとめたパンフレットを置き、活動への参加や学校・地域についての理解を深める活動を行っている。

（３）学習支援

主に社会科や生活科・総合的な学習の時間・特別活動（児童活動）で、地域の方から戦争体験や昔の地域の様子等のお話や縄ないやわら細工・昔遊び、身の回りの自然について教えていただいている。

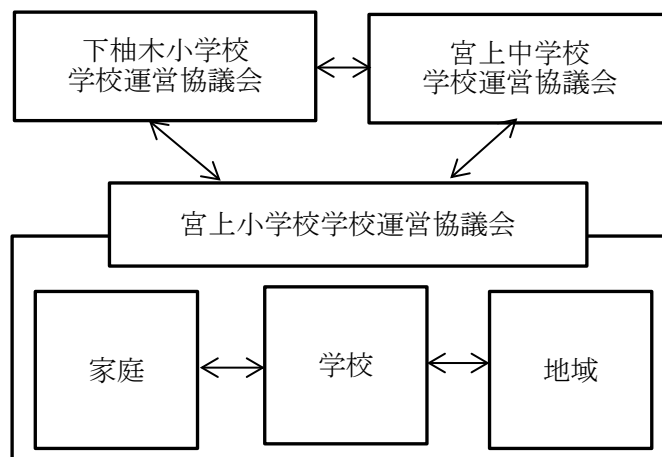


■活動の目的・概要

○運営目標

学校経営計画に掲げる「ひとりでできないことを、みんなで」の実現を目指す。

点ではなく、線から面、そして立体的に子どもたちの成長の連続性を踏まえた視点で、「今日も笑顔で元気です」を合言葉に、子ども、保護者、教職員、そして学校に携わる方々が走ってきたくなくなるような学校づくりを推進する。



■活動の特徴・工夫

○登校見守りの取組み

- ・挨拶の習慣化や登校時間の順守を図るとともに、登校時の個々の児童の様子を教職員と共有・連携することで、様々な課題について早期の対応がとれるように努めている。校門で困った様子の児童に声をかけたり、必要に応じて教室まで連れ添ったりして、良い登校習慣につなげている。

○3校合同学校運営協議会

- ・小中連携という観点から、3校（宮上中学校、下柚木小学校、宮上小学校）の合同学校運営協議会を年間3回実施している。合同学校運営協議会開始の際には、グループに分かれて熟議を実施し、子どもや地域について検討している。

○OM' s GARDEN

- ・公益財団法人東京都公園協会より都市緑化基金助成を受けるなどして、校内の花壇整備及び緑化活動を行っている。四季折々の花は来客からも好評である。また、南大沢駅前で開催されるフラワーフェスティバルに参加することで、地域への活動の啓発を行っている。（優秀賞や市民賞の受賞歴あり）

○学校評議員との合同開催

- ・近隣の幼稚園長・保育園長・みやかみ会代表・郵便局長・民生委員などから構成される学校評議員と学校運営協議会とで年2回の合同開催を行い、学校運営や教育上の課題等について意見を交わし、よりよい学校を目指している。

○集団外遊び講座

- ・児童の健全な発達のためには、集団での外遊びが欠かせないと考え、保護者や地域とも連携しながら、伝統的な遊びやレクリエーションの専門家の助言を取入れ、遊びを豊かにする場を設定している。平成29年度から、大学の先生をお招きして、多くの参加者とともに外遊びについて学んでいる。

■活動の目的・概要

○学校運営協議会運営目標

- ・愛宕小学校児童の「生きる力」を身に付けさせる教育充実のため、地域住民の潜在能力を活用することにより、社会との接点を保持しつつ、より一層の支援を行う。
- ・様々な実働的学校支援活動を通して、学校・家庭・地域が連携を強め、地域住民による協働を推進する事によって、子どもを取り巻く地域環境そのものを向上させる。

組織図

総務・学校運営協議会だよりの発行各種事業の会計業務

環境整備担当

- ・学校図書館
- ・学校事務、用務との連携

行事企画担当

- ・放課後子ども教室推進委員会
- ・愛宕 Camp 実行委員会
- ・漢字検定実行委員会
- ・講演会企画
- ・保護者ケア（さくらの会）
- ・授業サポート
- ・卒業式児童サポート

地域連携担当

- ・町内会担当
- ・保幼小担当
- ・医療機関担当
- ・人材活用担当（地域住民・近隣大学）

■活動の特徴・工夫

○愛宕Camp

- ・夏休みに学校施設を利用した児童の防災体験活動を実施。地域の方や卒業生等がボランティアとして参加してもらっている。Campでは、防災体験だけでなく、お菓子作りやプール遊び、火起こし体験などの毎年恒例の行事の他、星空観察や音楽鑑賞、チャンバラなど新しい企画を取入れて活動を行っている。夜間は、市から借りた防災用の毛布などを使用し、校庭に張ったテントや体育館でダンボールを使用して仕切りの中に泊まる宿泊体験を行っている。

○教育支援

- ・学校コーディネータを中心に地域の方や近隣大学の学生等を巻き込んで、活動を展開し、学校と地域が一体となって子どもを育てていくための体制づくりを構築している。学習支援やキャリア教育授業を始め、たけのこ堀や地域防災訓練等の体験活動も実施している。地域の方による放課後の音楽指導を経て、青少対音楽祭での発表会に参加する児童もいる。また、土曜日に保護者と地域住民で練習を重ねた「スポーツ鬼ごっこ」では、大会にも出場している。

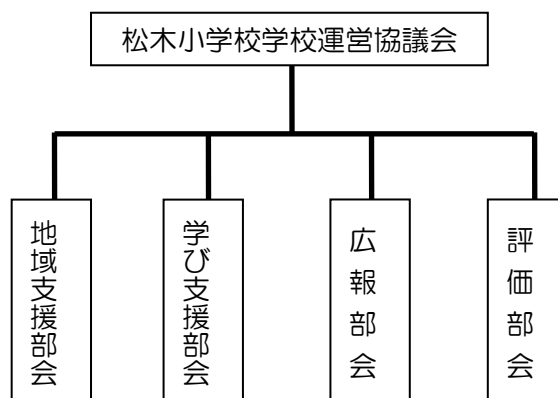


■活動の目的・概要

○活動方針

学校経営方針の「自己実現できる学校」を目指し、「みんなの子どもをみんなで育てる」ことを重視した学校・家庭・地域協働の学校づくりを実現する。

- ・松木中学校区3校合同協議会を行い、学校とともに地域等が連携し、参画意識の向上に努める。
- ・学校運営協議会が核となり、実働できる人材の確保と実働支援組織の立ち上げを行う。
- ・広報・HPなどを活用し、地域運営学校の趣旨や活動内容について積極的に周知する。



■活動の特徴・工夫



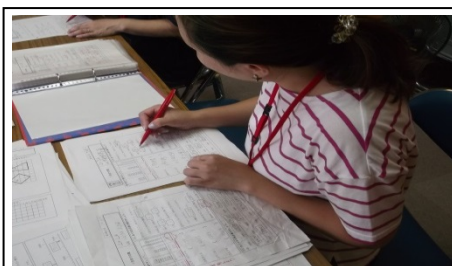
○放課後・夏休み学習会

5月から10月・3月の金曜日の放課後、夏休みの3日間、開催。指導者は保護者・地域の方、学生にお願いし、毎回100名程度の子どもが参加している。



○学習支援ボランティア

コーディネーターを中心に、ニーズに合わせて、年間を通して募集をしている。ボランティア登録者専用メールがあり、円滑な運営ができるようになっている。



○松木プリントはなまる先生

自分の課題に合わせて自由に取り組める「まつぎプリント」を、毎日、保護者・地域の方が「はなまる先生」になって丸つけをしている。毎年1万枚以上の提出がある。



○学校運営協議会通信

ボランティア活動の理解と協力を得るために、その様子や感想等を掲載し、年1回通信を発行。カラー印刷にすることで購読者が増加している。



○教職員との交流

学校運営協議会と教職員のコミュニケーションを図ることを目的に本音トークの会を開催。教職員の思いを直接聞ける良い機会になっている。



○漢字検定

「〇級合格！」を目標に、毎年多くの子どもが参加。受検監督は保護者・地域の方にお願いしている。毎年挑戦する子どもも多く、成績優秀者は朝会で表彰している。

○その他の活動として、松木中学校区3校合同学校運営協議会、学習支援各種ボランティア（授業支援・校外学習引率補助・新1年生生活指導補助・低学年水泳着替え指導補助）、特別支援ボランティア、松木小学校避難所運営会設置・防災訓練等を展開している。

■活動の目的・概要

○宮上中学校区の学校運営協議会と連携を図りながら学校支援体制を確立する。

○『地域運営学校』としての取組を充実させ、保護者・地域の教育力を発揮しながら、協働した学校運営を推進する。

学校運営協議会

(下部組織として)

5 委員会

【学力向上委員会】【学校図書館推進委員会】

【放課後見守り委員会】【地区班担当委員会】

【学校林活用推進委員会】

■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会の活動内容

- ・主に学校運営承認機関としての役割を果たし、平成27年度から学校運営協議会に下部組織として4つの委員会を設置し、平成28年度には、さらに1委員会を加え活動している。

学期に1回、『拡大学校運営協議会』を開催し、保護者・地域・関係機関と学校とが協働して、児童の健全育成に取り組む仕組みづくりにより、学校運営協議会を軸に『地域運営学校』としての運営力が確実に発揮されている。

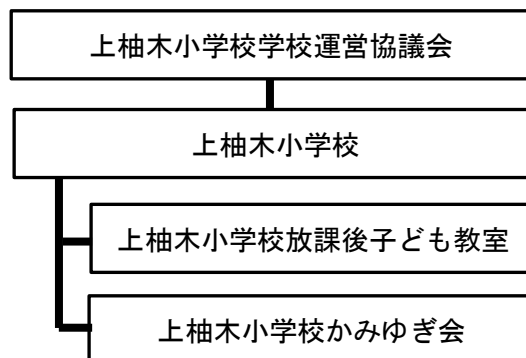
- (1) 学 力 向 上 委 員 会：平成25年度に『放課後算数教室』（通称・下柚木道場）を開始。3年生以上の入門希望児童（対象児童の約20%）が、『東京都ベーシック・ドリル』を活用して学習している。また、『夏季算数教室』や授業時間にも、ボランティア支援を進めている。
- (2) 学校図書館推進委員会：毎週金曜日、朝の読み聞かせ（全学年）、学校図書館整備、寄贈図書運動の推進などを主な活動とする。平成29年度からは、休み時間にも読み聞かせを行い、毎回、約3分の1の児童が参加している。
- (3) 放課後見守り委員会：主に『放課後子ども教室』の企画・運営に携わり、委員の人選等も行っている。地域や施設使用団体、近隣中学校とも連携し、同時間帯に催し等を実施している。
- (4) 地区班担当委員会：各地区の担当者（保護者）と学校とが意見交換をして課題解決に当たっている。『拡大学校運営協議会』の回を重ね、PDCAが機能してきたため、円滑な運営につながっている。
- (5) 学校林活用推進委員会：東京緑化推進委員会の支援の下、講師やボランティアの協力を得て、計画的に学校林を活用した学習を進めている。特に5年生は、環境保全の観点から、学校林環境整備のために遊歩道を作り、都森林組合に都の森林保全についてレクチャーを受けるなどの体験的環境学習を実施している。

左から、下柚木道場
朝の読み聞かせ
学校林学習活動 風景



■活動の目的・概要

○学校長の経営方針を理解し、学校運営協議会として情報共有等をしてしながら、学校と家庭・地域が連携した上柚木小学校らしい地域運営学校の運営を目指すため熟議を重ねている。（上柚木小学校学校運営協議会として、どんなコミュニティスクールを作れば、学校と家庭・地域が連携した学校づくりが推進できるか、保護者・地域に何を・どう発信していくか）



■活動の特徴・工夫

○漢字検定

- ・学校運営協議会設置以前（平成26年度）から、学校コーディネーターの活用により、児童・保護者の参加を促し、年2回の漢字検定を実施している。学校運営協議会を設置した平成29年度からは、学校運営協議会のバックアップにより、地域人材の確保や検定運営に協力している。

実施結果		受験者	合格者	合格率
平成26年度	第1回	72	69	96%
	第2回	45	38	84%
平成27年度	第1回	47	39	83%
	第2回	42	32	76%
平成28年度	第1回	36	32	89%
	第2回	33	29	88%
平成29年度	第1回	59	50	85%
	第2回	※学校公開日と重なり未実施		
平成30年度	第1回	61	58	95%
	第2回	41	32	78%

○保護者の会と連携した「〇〇教室」

- ・各種行事の企画・運営を行い、児童・保護者・地域の連携を促す活動を模索する中で、保護者の会と連携した親子料理教室を実施している。家庭科室を使つての活動のため、一度の参加人数に限りがある。
- 料理教室だけでなく、様々な活動の展開に向けて、活動内容や人材の確保等について模索している。



○放課後子ども教室との連携

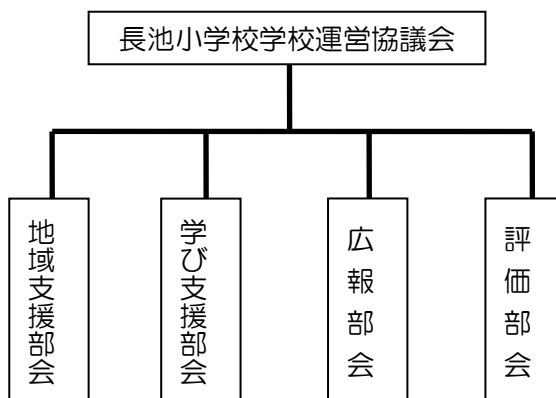
- ・放課後の子どもの居場所として保護者の有志が自発的に立ち上げ、学校運営協議会と連携しながら活動している。活動日を年々増やし、校庭遊びだけでなく雨天時の室内遊びや常時室内を使った工作遊び、地域のスポーツ団体と連携した体験教室も実施している。放課後の学習活動（補習や英語）も視野に入れ活動中。



■活動の目的・概要

○長池小学校の学校経営方針の具現化を目指し、学校・保護者・地域が協働する学校づくりを実現する。

- ・学校・家庭・地域が連携し、児童の健全育成に努める。
- ・中学校区3校と連動し、E S Dの構成概念である公平性「一人一人を大切に」、連携性「力を合わせて」を目指して地域の教育力を向上させる。
- ・学校運営協議会が核となり、学校教育への協力者を確保する。
- ・広報活動により、地域運営学校の主旨や活動内容について積極的に周知する。



■活動の特徴・工夫



○学校運営協議会の開催

毎月、第3・4月曜日を定例会として学校運営協議会を開催。主な議題は学校運営状況の検討や報告等。



○あいさつ運動への参加

各学期の始まりに、青少対や児童会、6年生とともにあいさつ運動に参加。



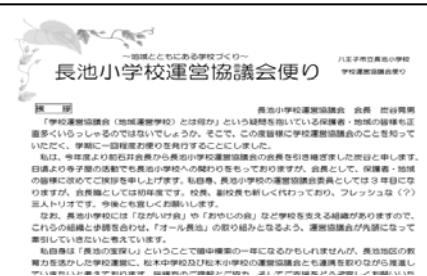
○浄瑠璃祭りの開催

地域コミュニティの醸成のため、浄瑠璃祭り（地域祭り）を開催。



○学校コーディネーターの配置

学校のニーズに合わせて、地域ボランティアを募集したり、新しい人材を発掘。



○学校運営協議会便り

定期的に学校運営協議会便りを発行し、広報活動を実施。



○コミュニティカレンダー

松木中学校区のコミュニティカレンダーを作成し、松木中学校区の主要な活動を共有。

○その他の活動

松木中学校区3校（小学校2校・中学校1校）合同学校運営協議会（年間3回・各学期1回）

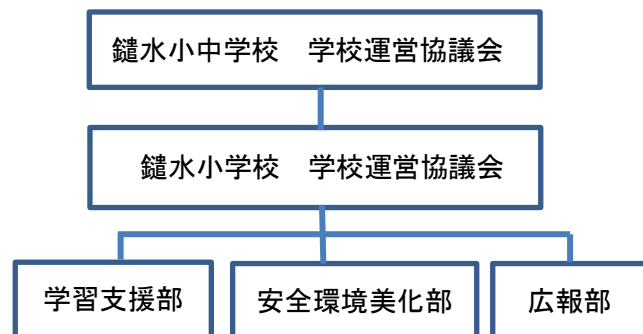
学校運営協議会とながいけ会（PTA）との意見交換会

避難所運営会運営補助 など

■活動の目的・概要

○学校・保護者・地域が協働して、学校教育目標「本気で考える子
勇気をもって行動する子 元気で心豊かな子」の実現を目指す
とともに、ふるさと鍵水（八王子）を愛する子どもを育成する。

- 1 学校運営協議会は、学力向上、子供の安全確保、学校・地域の環境美化地域防災という3つの学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。
- 2 学校運営協議会は保護者・地域住民に活動を公表し、支援者の一層の拡大を図り、子供と一緒に育てる『共育』（ともい）を推進する。



■活動の特徴・工夫

○放課後子ども教室の充実

- ・放課後子ども教室およびスタサポ（放課後補習教室）でのスタッフ募集を行い、学習支援活動の充実を図る。

○学校支援基金（ファンド）の設立

- ・学校運営協議会の知名度拡大と活動の理解を図るとともに、学校支援活動資金を得るために、運動会で飲み物販売を行う。

○緑あふれる学校づくり

- ・やりみず会（PTA）お花係のボランティア募集増員を図り、学校花壇やみどり広場の整備を行う。

○通学路の安全確保

- ・児童の安全確保のため、通学路の夏草刈り、落ち葉掃き、融雪剤散布等を行う。

○小中学校運営協議会の連携

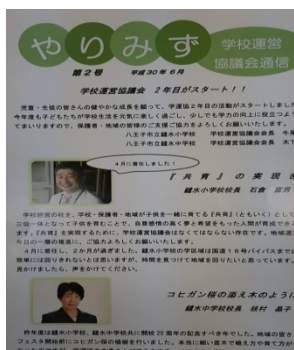
- ・鍵水中学校学校運営協議会とともに、鍵水地区の子どもの成長を支える基盤を整備する。また、広報活動を一本化し、学習支援部や安全環境美化部の具体的活動の様子や成果などを「学校運営協議会通信やりみず」にまとめて発行している。



放課後子ども教室



通学路落ち葉掃き



「学校運営協議会通信やりみず」



運動会飲み物販売



花いっぱい活動

■活動の目的・概要

- 高尾山学園の教育目標の効果を最大限に高める環境づくりのため、市教委と連携しつつ、「不登校対策拠点校としてあるべき姿の協議」および「高尾山学園の抱える課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議」を行う。
- 学校運営協議会委員による校内研修の実施ほか、下部組織として学校サポート本部（TSnet）を立ち上げ、保護者や保護者ＯＢ、地域住民などが活動できる場を創設している。

高尾山学園 学校運営協議会



高尾山学園 学校サポート本部

メンバー：保護者・保護者ＯＢ・地域住民ほか
活動：学園四季祭ボランティア
花壇ボランティア
図書ボランティア
農園サポーター
保護者力向上のための活動など

■活動の特徴・工夫

○学運協有識者委員による研修

- ・本校学校運営協議会委員には複数の学識経験者が参画しており、平成２８年度から校内研修の講師として招き、情緒障害や発達障害の理解の他、チームサポート力向上のための研修を実施している。

○学校サポート本部（Takaosangakuen Supporters network：TSnet）

- ・平成２７年度に準備し、平成２８年度から運用を開始。

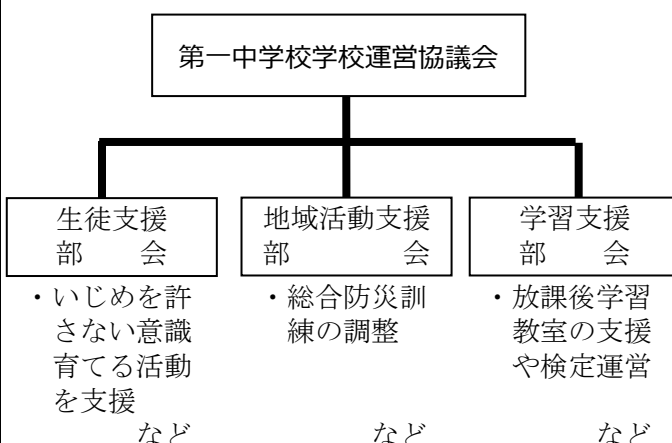
本校にはＰＴＡや青少対、育成指導員、子ども会などの支援組織が存在せず、保護者も八王子全体に点在し、かつ途中転入の家庭ばかりで横のつながりが持ちにくいのが現状である。そこで、不登校対策の一つとして保護者力の向上（参画意識や保護者の体験活動）を目的に学校サポート本部を立ち上げ活動している。学校運営協議会委員の中から地域での活動経験のあるメンバー（他地区のＰＴＡ会長経験者）が中心となり、教職員と連携して、活動の企画、ボランティア募集、イベントの実施、コーディネーションを担当し、保護者の参加を促している。

また、近隣団地住民との交流の場として農園サポーターを導入し、小学部では農園の支援だけでなく、コサージュづくり、調理体験、清掃活動など団地のお爺ちゃんお婆ちゃんとの交流も行い、お互いwin-winの関係となっている。

- ・学園四季祭ボランティア 年５回のイベントでのサポート活動
- ・花壇ボランティア 花壇の整備、雑草取りなどの活動
- ・図書ボランティア 図書司書による読み聞かせ教室や整備活動支援
- ・農園サポーター 近隣団地住民による学校農園での作業支援

■活動の目的・概要

- 学校運営の報告や教育活動アンケート、懇談などから学校運営の状況を把握・分析し、改善策を提言する。
- 学習状況アンケートなどから、生徒の学習状況の実態の把握・分析し、放課後学習教室などの学習機会を支援する。
- 学校と地域が連携する総合防災訓練を充実させ、生徒に地域の担い手としての意識づくりをする。また、防災への具体的な技能習得を支援する。



■活動の特徴・工夫

○教育活動アンケート

- ・毎年2回実施している教育活動アンケートは、生徒に対して行われるものと保護者に対して行われるものがあり、当初は、実施後、何日もの時間を掛けて、委員が集計する形も続いていたが、現在は機械を使って集計を行い、丹念に分析をし、貴重な意見をより良い学校づくりへ活かしている。

○総合防災訓練

- ・「学校と地域が連携した総合防災訓練」は、学校運営協議会の会長が実行委員長を務めている。訓練のプログラムも確立しており、生徒と地元消防団、地域の消防署、市の防災課とも連携した活動が行えている。生徒が3年間のプログラムを終了すると、地域の中で災害時に役立つ知識や技能が身に付くようになっている。



○教員・代表生徒との懇談

- ・毎月行われる学校運営協議会のうち、年に数回、教員との懇談会及び代表生徒との懇談会を行っている。懇談会では委員からの質問に答えたり、教員が学校行事や生徒の様子を話したりすることで、委員が学校の様子を正確に把握することに役立っている。また、生徒から直に学校の様子などを聞き取ることができ、委員が生徒の目線で学校の様子を把握するのに役立っている。

○授業の参観

- ・委員は年間3回の学校公開はもちろん、学校行事や校内研修の研究授業にも参加し、生徒や教員の様子を見学している。その中で、意見を発表しあい、課題を明らかにして生徒の成長や教員の授業力向上に役立っている。



■活動の目的・概要

- 「学校が核」となり「地域」をつなぐ。固くつながれた「地域」が主体となり「家庭」を支え、「学校」を支え、「子供」を育てることを目的としている。
- 歴史と伝統的のある地域社会、卒業生、保護者等の思いをつなぎあわせ、子どもたちの成長のために、具体的な行動へと道筋をつけ育成環境を創り上げている。
- 地域の子どもを育てるという観点から、小中（一小・四小・五中）合同学校運営協議会を実施している。



■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会委員と教職員の連携

- ・年度当初に、学校運営協議会委員と教職員が目指す生徒像・学校像・教師像について、2学期始めには前期学校評価アンケート結果を踏まえ教育活動に関する協議を行っている。相互に顔の見える関係づくりを進めるとともに、教育活動を客観的に見つめ具体的な改善策を考えることのできる時間となっている。また1・2月には学校の自己評価に対する学校関係者評価を実施している。



○地域防災訓練の実施

- ・地域連携部を中心に、地域町会と連携を図り地域防災訓練を実施している。主な訓練内容として第1学年は救出救助訓練・初期消火訓練、第2学年はAED講習・応急手当訓練、第3学年は想定訓練・炊き出し訓練等を行っている。地域人材の連絡調整・全体把握は学校運営協議会委員が務め、各ブースでは地域防災担当者が訓練のコーディネートをしている。訓練を通して生徒及び地域参加者の防災への意識、そして共助の精神が高まっている。



○五中応援団による支援

- ・学校支援部・学校コーディネーターを中心に、PTA・地域との連携を図りながら教育活動への様々な支援を進める『五中応援団』のコーディネートを行っている。「放課後楽習会」「英数マラソン」「英語検定・数学検定」「学校図書館ボランティア」「体育大会等学校行事支援」等の充実を図り、子どもたちの育成環境の質を高めている。



■活動の目的・概要

- 「社会に貢献する人材の育成」を目指し、毎月の定例会での評議のほか、4つの事業に取り組んでいる。特に、学習支援事業であるマンデイクラスはコーディネーター2名がサポートセンターとしての機能を果たし、約30名の学習サポーターと連携し、生徒の自主学習支援にあたっている。
- また、地域総合防災訓練は災害時に共助の精神のもと地域とともに動ける生徒の育成を目指し、総合的訓練を実施。平成28年度から、生徒も町会ごとに分かれ、同じ地域の方と訓練をしている。

青雲の学舎 第六中学校

学校運営協議会

学習支援事業

マンデイクラス
生け花教室 他

地域連携事業

地域総合防災訓練

研修事業（6月）

学校評価事業

教育活動アンケート

■活動の特徴・工夫

○学習支援事業

- ・2名の学習支援コーディネーター中心に、地域人材による生徒の各種学習サポート活動
- ・マンデイクラス（放課後自習教室）
- ・寺子屋（テスト前自習教室、夏季休業中）
- ・生け花教室
- ・図書サポート（図書館開館）
- ・音楽サポート（合唱伴奏者など）



○地域連携事業

- ・平成23年度から生徒と地域による協働行事「地域総合防災訓練」を実施
- ・地域20町会中、毎年15町会以上、総勢650名規模
- ・基礎防災、避難所設営、炊き出し、防災討議
- ・学校・地域・消防署・消防団・市役所と多岐にわたり連携



○研修事業

- ・他学校運営協議会の視察等の実施
- ・視察先：三鷹市小中一貫校、富山県速水中学校、横浜市東山田中学校 等
- ・八王子市担当者研修会「学運協10年について」
- ・生徒会中央委員会との懇談会
- ・研修会テーマ「地域運営学校」として目指すもの

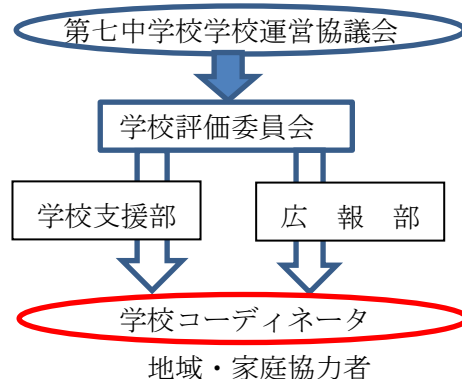


○学校評価事業

- ・学校を事務局として、八王子市共通項目を中心に以下の評価を実施
- ・教育活動アンケート（2回）、生徒授業評価アンケート
- ・教職員学校内評価
- ・12月からの定例会では学校からの報告をもとに活発に議論
- ・3月には学校評価報告書を作成

■活動の目的・概要

- 保護者を含めた地域住民の学校運営への参画により、第七中学校の生徒が生き生きとした学校生活が送れるようにするとともに、地域住民に張り合いや生きがいを創出することを実現する。
- 各種取り組みや協働を行うための組織を構築する。



■活動の特徴・工夫

- 学校運営委員会の役割・目的の明確化と組織を討議
 - ・学校・家庭・地域が共通の目標をもって第七中学校の生徒の成長を支えていくため、学校運営協議会の役割・目的を明確にし、学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築していく。

学校運営協議会に部会を設置し、学校コーディネーターとの連携を図りながら学校運営・学校支援の充実を推進している。
- 地域人材の発掘方法について討議
 - ・学習支援ボランティアをはじめとした学校支援者を地域から発掘し、地域の教育力を学校運営に生かしていくために、地域自治会への働きかけや家庭・地域に向けた配布用プリントを作成し、地域の回覧板にて供覧している。
 - また、学校運営協議に関する説明も、地域自治会へ行っている。（7町会にて説明を実施）
 - ・平成30年10月から放課後学習会を展開。
- 経営計画の中に教員の地域行事への参加を増やすことを明記
 - ・教職員の地域への関心を高めるとともに、教職員と地域の関係作りを推進していくための、地域青少対によるパトロールやお祭りへの参加している。
- 学校経営計画・教育課程への意見、承認
- 学校の活動報告・予算執行状況等の確認
- 学校評価のまとめに対する意見
- 人事に関する要望



吹奏楽部

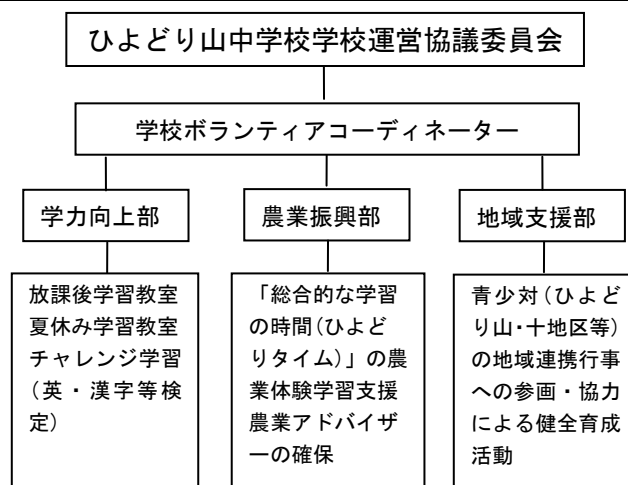


合唱部

体育祭用の竹の切り出し
(山丑小こて)

■活動の目的・概要

○地域の人材を生かし、学校と保護者・地域が互いに双方向の連携・協働する特色ある学校教育を実現することを目的に、「学力向上部」「農業振興部」「地域支援部」を設置し、熟議を重ね、地域運営学校づくりに取り組む。



■活動の特徴・工夫

○学力向上部の活動

- ・学校運営協議会設置当初より、生徒の基礎学力の定着・向上を目指し取組を展開してきた。年5回ある定期考査前に「放課後学習教室」、7月下旬に「夏休み学習教室」を地域の学習ボランティアの方と教職員が連携し、数学・英語の補習・学習支援を行っている。生徒の「学習意欲を喚起するための指導の在り方」や「できる・わかる喜びや達成感を実感させ基礎・基本を定着させるには？」等、学習支援・指導を工夫して取組んでいる。

○農業振興部の活動

- ・総合的な学習の時間(ひよどりタイム)に全学年で「農業体験学習」に取り組んでいる。指導スタッフは、教職員はじめ、市農業塾修了生等、地域の農業経験のある方に依頼し「農業アドバイザー」として指導・支援していただいている。「土作り・畑作り」⇒「種まき・苗植え」⇒「雑草とり・肥料散布」⇒「収穫」という、作物を収穫するまでの一連の活動を生徒一人一人が体験し、「食」「いのち」「共存共栄」「地産地消」「命のリサイクル」等のキーワード=『生きる』力を身近に感じた課題学習に取り組んでいる。

○地域支援部の活動

- ・本校は、青少対や町内会・自治会等、青少年健全育成団体との関わりが強く、生徒の健全育成に通じる地域行事等に多く連携・協力・協働した活動を行っている。具体的には、7月に町内子供会の野外体験活動として本校校庭で子どもキャンプの実施。秋の9月には青少対グラウンドゴルフ大会の実施。10・11月には小中一貫連携校である市立第十小学校での青少対音楽会の実施やひよどり山音楽祭を実施している。その他、地域と連携した防災訓練や各自治会等の活動にも、本校施設を可能な限り開放し、学校と地域で相互に協力しあう関係を築いている。

■活動の目的・概要

○学校の応援団としての位置づけ

- ・学力向上の支援
- ・図書室運営及び図書環境向上の支援
- ・地域に貢献する生徒の育成の支援
- ・様々な課題を抱える生徒の個別支援 等

○学校ボランティアのとりまとめと人材確保

○甲中美術館の地域作品の情報収集と連絡・調整

○地域での生徒の見守りと情報提供

《 学校運営協議会の運営方針 》

- ・肩ひじ張らず力まない。
- ・小さくゆるやかに活動する。
- ・スモールステップ(小さな一歩)精神を大切にする。
- ・学運協委員の個性を活かす。
- ・学運協だよりを発行する。
- ・開催通知は、メール等で発信する。

■活動の特徴・工夫

○学校への主な支援

(1) 学力向上の支援

①授業内における学習支援

②チャレンジタイム(学校主催の自学自習教室:希望者)の支援

- ・毎週水曜日の放課後:全校生徒対象
- ・夏季休業中:全校生徒対象 ・冬季休業中:3年対象
- ・土曜日の午前中:3年対象(9月以降、月2回程度)



授業内での学習支援

(2) 図書室運営及び図書環境向上の支援

①平日の図書室の開館、閉館業務の支援と生徒の見守り

②図書ボランティア定例会

- ・月1回、学校司書の勤務日に開催
- ・図書担当教員、学校司書、図書ボランティアが参加
- ・図書、書架の整理、飾り物の制作と図書の廃棄作業



チャレンジタイムでの学習支援

(3) 地域に貢献する甲中生の育成の支援

①青少対活動への参加

- ・健全育成標語 ・クリーン大作戦 ・小さな冬の音楽会

②吹奏楽部の福祉施設訪問

- ・蒲公英組(ハンドベルのボランティア団体)と
コラボした福祉施設での演奏活動

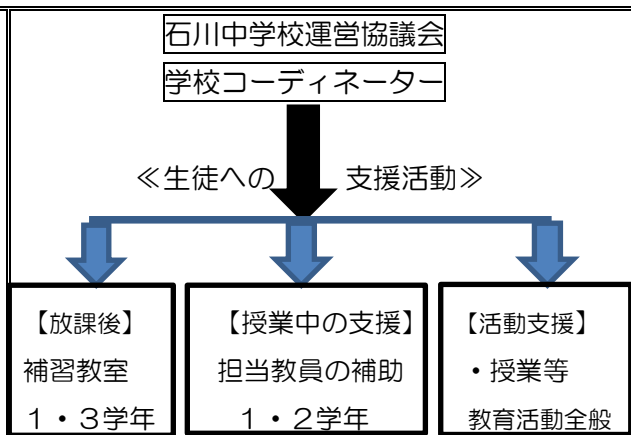


図書ボランティア:書籍の廃棄作業

■活動の目的・概要

○本校の教育方針に基づいた「学力の優劣や発達障害の有無にかかわらず、すべての生徒が『わかる・できる・楽しい』ことをめざす授業である「石川中 授業スタンダード」を実現するために、学校と地域が連携し、生徒への支援方法の一つとして「学習ボランティア」を充実するよう力を注いでいる。

○授業・放課後の補習教室や校内研修会を参観や支援することにより生徒理解を通して教職員への助言を行っている。



■活動の特徴・工夫

○放課後の補習教室からの基礎学力の充実を目指す

平成29年度から、放課後の学習教室の充実を核として「学ぶことが楽しい」と感じることができるよう、基礎学力の定着を目指している。1年生においては、月～金曜日（水曜は除く）に5教科、また、1・3学年の数学においては週2日間行っている。支援者は大学生、地域の方や学運協委員の方々にお願いして取組んでいただいている。担当教員と共に教室に入り生徒たちの様子を共有し、石川中生への理解を深めている。

2学年では授業に入り、机間巡視や生徒への声掛け等支援活動を行っている。支援者が入ることにより、生徒が安心して授業に取り組むことができる環境づくりの一助となっている。



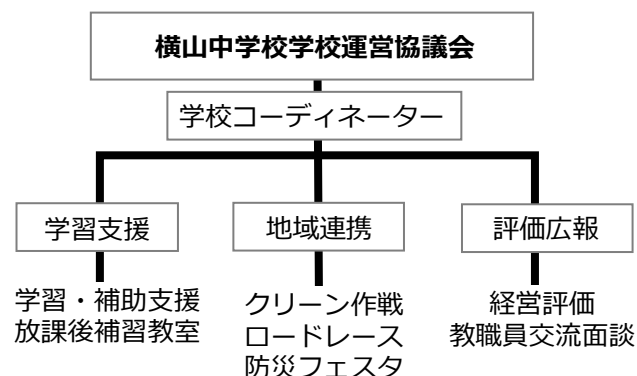
○授業等の参観における支援活動

校内研修会（平成30年度の研究主題は「特別の教科 道徳」における言語活動の充実を通して）に参加していただき、授業参観後の協議会でご助言等をいただいている。授業を参観することにより、現在の道徳授業への理解や生徒の思考活動の様子を通して、保護者の立場からの視点や教員への授業展開についての意見や感想をいただく機会となっており、本校生徒の育成と教職員の指導力向上の力の一つとなっている。



■活動の目的・概要

- 横山中学校と保護者・地域の皆さんが生徒の健やかな成長のために考え、話し合える環境作りに努める。
- 横山中学校を地域のコミュニティの中心となるように支援し、横山中学校の学校力、生徒育成力の向上を目指す。
- 学校運営協議会として学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動や放課後支援活動を行う仕組みを構築する。
- 重点目標 「人に優しい温かい学校」



■活動の特徴・工夫

○教職員との交流面談

- ・平成26年度の学校運営協議会発足時から、年2回、授業参観後に学校運営協議会委員が教職員と交流面談を行っている。教職員からの意見を聞くことで、具体的な支援策、補助策の協議・実施につながる。



○放課後学習教室、授業支援

- ・毎週1日、放課後の教室を利用し、生徒たちの学習補助を行っている。学習アドバイザーとして地域の方に入ってもらい、その日に出された宿題、プリントの個別指導などを行う。また、日常の授業でも、地域の学習サポーターが教室に入って授業支援を行っている。担当教員と連携をとることで、多面的な生徒理解につながり、基礎学力向上にも成果を上げている。



○地域との連携

- ・クリーン作戦（地域清掃活動）（7月）、ロードレース大会（12月）、防災フェスタ（3月）などの青少年に関わる行事や地域行事とタイアップしている。多くの地域の方にボランティアとして参加していただき、中学生も地域の一員として活躍している。多くの生徒が参加することで、地域の活性化にもつながり、また、学校と地域のパートナーシップを築き、地域全体での教育活動の質的向上につながっている。



■活動の目的・概要

○地域の将来を担う子どもたちを自らの手で育成するために、まず手始めに「生きる力」の基本となる学力向上を目的に、長房中学校生徒の自立した学習を支援するために、時間を掛け、「学習支援ボランティア」を募集し、PTAの協力や地域人材を導入し、本校の教育職員の負担を加重することなく独自に実行できる範囲で放課後学習教室を開設している。

地域運営学校【長房中】

落ち着いた環境、落ち着いた生徒の授業態度の中で、生徒の基礎学力の定着と更なる学力の向上を目指す。

- ・基礎学力の定着と学習習慣の育成・・・支援部
- ・授業内容の改善、生徒の習熟度の向上・・・評価部
- ・挨拶や礼儀の徹底、・・・健全育成部

■活動の特徴・工夫

○放課後学習教室『まなび』の内容

1. 放課後、居残って自学・自習する場所を学校が提供する。
2. 本校の実態に合わせて開室時間を決める。
(17時30分閉室とする)
3. 自習教材は原則として各自が持参する。
学校で用意する教材は習熟度ごとに分けられたるプリントで、習熟度が分かるように仕分けしプリント専用の引き出しに入れておく。
4. 自習している時にいつでも質問ができるように、学生のインターンシップや地域ボランティアをお願いする。
その中から放課後学習教室コーディネーターを2～3名指名する。
5. コーディネーターは教科指導の他に出席簿の管理と教室管理を行う。
6. 当面は、試験的に週1回の開室をする。
(当面は木曜日)
7. 夏季休業中にも適当な時期と期間に開室する予定である。



活動の目的・概要

- 教育目標の「進んで学習する人になろう」「仕事に精を出す人になろう」「心身ともに健康で思いやりのある人になろう」の実現を学校・家庭・地域の協働により達成する。
- 学校運営協議会を年8回実施する。学校・家庭地域が連携し、心身ともに健康で社会に貢献する生徒を育てる。
- 地域の力を活用した多様な教育活動を推進するため、学校運営協議会が学校及び生徒を支える原動力となる。

- 平成27年度に地域運営学校としてスタートし、徐々に学校運営協議会としての活動が形作られている。今後も、学校運営協議会と本校PTAや青少対梶田地区委員会等との連携を図り、地域運営学校としての機能を向上させる。



活動の特徴・工夫

○朝学習

- ・学校コーディネーターが中心となり、1学年の生徒を対象に朝7時30分～8時10分に図書室で朝学習を行っている。地域のトヨタ東京自動車大学の学生の協力のもと、質問などに答え、学習をサポートしている。



○数学検定

- ・学校運営協議会主催の数学検定を地域のボランティアの方にも協力いただき、年2回実施。学校運営協議会が学校コーディネーターと連携し、地域人材の確保や運営のコーディネートを行う。今後は、漢字検定や英語検定についても学校運営協議会と連携して行っていく。

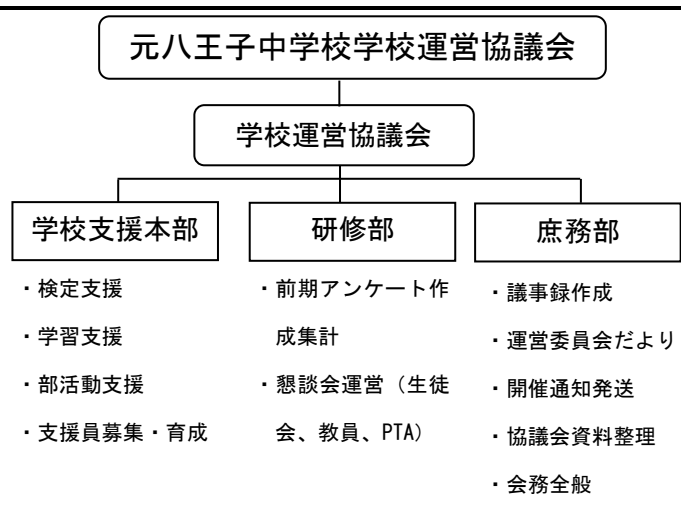
○地域清掃

- ・年に3回、青少対梶田地区委員会が主催する地域清掃に毎回たくさんの生徒が参加している。めじろ台南公園・梶田公園・神谷原公園・榛名神社・緑が丘小・春日神社・巴公園・おざき公園・トヨタ東京自動車大学の9つの集合場所から出発し、梶田中まで地域をまわりながらゴミ拾いを行う。青少対の役員さん、地域のボランティアの方々、PTAの本部役員・校外指導部・学年部・広報部の担当の皆さん、地域の小学生と梶田中の生徒、小中学校の教職員らが参加し、毎回400～500名を超える規模で地域一体となって清掃活動に取り組んでいる。



■活動の目的・概要

- 特色ある教育活動の実現に向けて、今までの取組を中心に一層の充実を図る。
- 生徒の学力向上のための学習支援（放課後や朝学習、夏季休業日の補習学習、各種検定試験のサポート）の充実を図る。
- 学校、生徒及び地域の防災体制の構築
- 生徒、保護者及び地域との情報共有



■活動の特徴・工夫

○各種検定（漢字検定・数学検定・英語検定）のサポート

- ・各種検定試験のサポートは、子どもたちの豊かな成長を支え、地域の絆をつなぐねらいのもと、本校生徒だけでなく、地域の生徒・児童を対象に実施している。また、地域の方々も受検できる機会を設けている。

学校運営協議会学校支援本部を中心に、学校サポーターと連携を図り、学習協力ボランティアとして地域の方に入っていたきながら、全9回実施している。

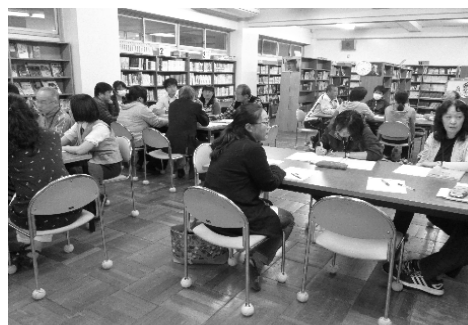
検定に向けての学習指導として、放課後の教室を利用し、国語科・数学科・英語科教員の協力のもと、学校運営協議会学校支援本部と連携して子どもたちの学習補助を行っている。

- ・漢字検定試験・・・年間3回（8、10、1月実施）
- ・英語検定試験・・・年間3回（6、10、1月実施）
- ・数学検定試験・・・年間1回（10月実施）



○学校運営協議会委員と生徒会・教員・PTAとの懇談会

- ・学校運営協議会委員と生徒・教員・PTA役員とテーマを決め、毎年懇談会を実施し、学校の様子や課題を把握する工夫を図っている。



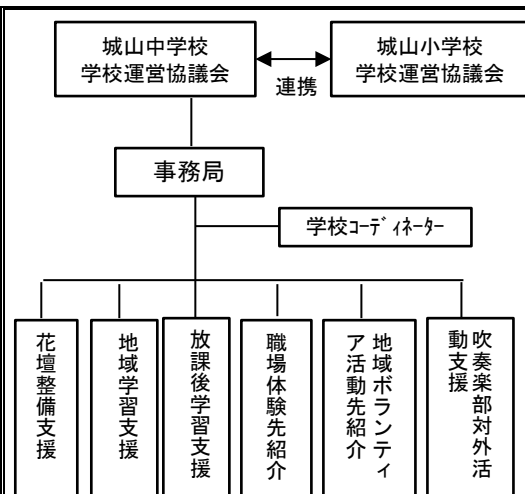
■活動の目的・概要

○活動目標：「生徒・教職員支援」

- ・地域の将来を担う子どもたちは学校（小学校を含む）・家庭・地域が連携して育てていかなければならない。そのために必要な学校支援活動を行う。

○学校運営協議会の基本方針

- ・城山小学校の学校運営協議会と連携した活動を推進する。
- ・不登校や問題行動生徒の保護者から傾聴し解決の助言を行う。
- ・教職員の負担を減らすための方策を提案し支援する。
- ・学校に対する地域の要望・苦情を収集し改善提案を行う。
- ・快適な学び舎にするため環境整備を推進・支援する。



■活動の特徴・工夫

○小中合同学校運営協議会の開催

- ・城山小学校とは小中一貫教育で繋がっているため学校運営協議会も連携した活動を行っている。委員は小中兼務5名、小学校5名、中学校5名で、各学期1回年間3回合同協議会を開催している。また、中学校単独では4回協議会を開催している。
- 生徒の家庭生活は本来「保護者を含めた地域の責任であり学校の責任ではない」という明確な考え方の元、学校運営協議会を開き学校・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。



○不登校や問題行動生徒への対応

- ・問題行動をおこす生徒や不登校生徒については担任・校長・保護者と情報の共有を図り外部機関とも連携して指導に当たる。
- また担任や校長が過剰なクレームを持ち込む保護者の対応に苦慮している場合は学校運営協議会としても保護者と接触し、十分傾聴した上で納得できる解決策を提案する。



○教職員の負担軽減策の実施

- ・ホームページの更新支援（定期的な学校だより、部活動計画書、PTA広報誌、学校運営協議会だよりなど）
- ・学校要覧の改版支援（パソコンで編集し、庁内印刷で費用節減）

○地域学習に資する史跡・旧跡マップの編集発行

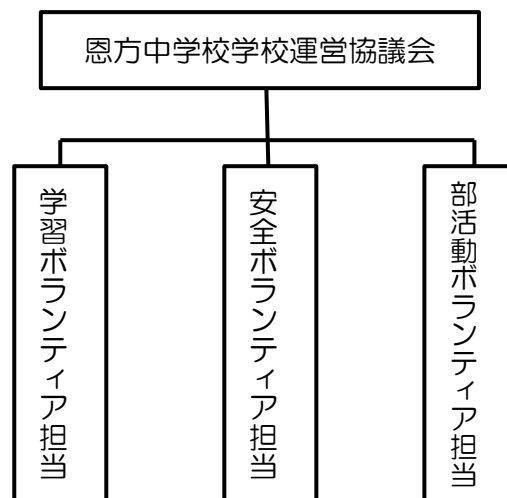
- ・学校運営協議会で企画・制作し、小中学校児童・生徒の全家庭と町会・自治会にも配布し地域の歴史遺産を紹介している。



■活動の目的・概要

○「地域に根差した学校」としての教育活動に参画し、地域力を活用して「生きる力」を育成するために、地域との橋渡しを行う。

- ・教育活動への参画
 - 「教育課題」への対応策の協議
 - 「学校行事」への積極的な参加
 - 「放課後基礎教室」「英語検定」の実施
- ・環境整備
 - 「夏休み環境整備」の実施
- ・地域との関わり
 - 「地域行事」への積極的な参加
 - 「学校運営協議会だより」の発行



■活動の特徴・工夫

○放課後基礎教室

- ・本校の課題である「学力向上」への対応として、平成27年度から実施している。水曜日の放課後を定期開催、定期考査前を特別開催として、基礎・基本の定着を目的とした補習学習を行う。地域人材の活用により、個に応じた少人数指導を実現している。
- また、長期休業期間中には「夏休み（春休み）基礎教室」として、補習学習を実施するとともに、学校が行う「サマースクール」の補助にあたる。さらに、英語検定を主催して行い、リスニングや面接指導などの検定対策講座を実施して、合格者を多数出している。
- そして、学区内小学校と連携を図り、小学生の英語検定受験生も受け入れている。



○夏休み環境整備

- ・より良い教育環境をつくることを目的として、平成27年度から実施している。夏季休業中に、普段は十分に清掃活動に取り組むことができていない場所（体育館や特別教室等）を重点的に行っている。教員・生徒・PTA・地域との協働により、成就感や一体感を味わうことでそれぞれの立場における「愛校心」の醸成に結びついている。

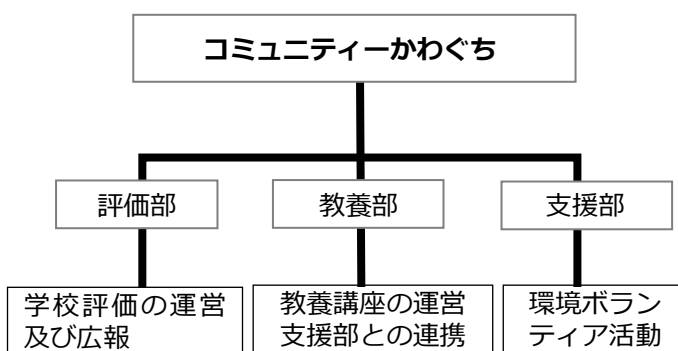


○その他の活動

- ・「道徳授業地区公開講座」等の学校行事への参加や生徒の地域行事への積極的な参加を促す等、広い範囲で教育活動に関わっている。また、活動の様子は、「学校運営協議会だより」を発行することによって、保護者・地域に伝えている。

■活動の目的・概要

- 「学校運営協議会の活動を、生徒の教育に関わる支援の充実に重点を置き、生徒の学力向上、進路学習、行事等を支援する」ことを目的に、年間6回の学校運営協議会で活動を推進する。
- 委員は公開授業や学校行事等へ積極的に参加する。支援部と教養部の活動を通して、地域の中の学校としての認知度を上げ、大人に見守られた穏やかで落ち着いた学校づくりを推進する。



■活動の特徴・工夫

- 合言葉「ゆっくり活動しよう」をモットーに、年間6回の定例会を実施。学校公開をはじめ、様々な学校行事にも積極的に参観し、学校の経営方針や生徒の様子、課題等について意見を交わしている。また、体育大会では学校運営協議会会長が表彰する場面を設けている。

○教養講座（教養部）

- ・平成26年度から講座を開設し、平日、地域の方が楽しみながら活動する場所を提供している。講座には、生徒も参加する機会を設け、地域の方と生徒と一緒に活動を通して交流を図っている。
- 竹クラブ竹細工教室の参加者の皆様が制作してくださった一輪挿しを校舎内の各教室の入り口に飾る等、学校美化への活用もしている。

【開設講座（平成30年度現在）】

- 月曜日：にこにこ若草会健康体操 〈被服室〉
囲碁教室 〈ふるさと学習室〉
- 水曜日：竹クラブ竹細工教室 〈地域の部屋〉
- 金曜日：竹クラブ竹細工教室 〈地域の部屋〉



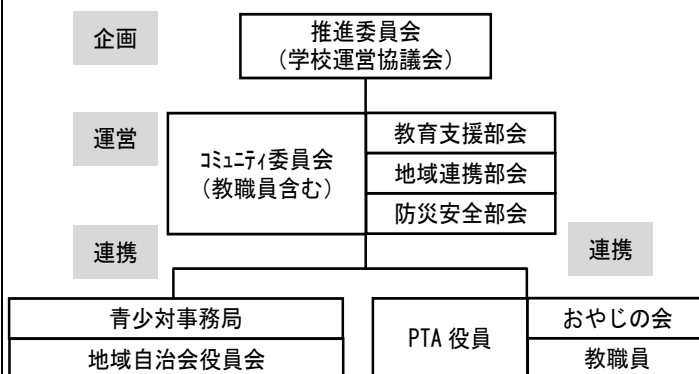
○川中支援の会（支援部のボランティア組織）

- ・学校内に花を植えて、生徒が花のある環境のもと、落ち着いて学習に取り組む学校を目指して活動している。花は春・夏・秋・冬の4回植え替え、フラワーサークルのボランティアの皆さんが中心となり行っている。
- 12月には、青少年対策委員会主催による地域清掃を行い、生徒のボランティアも参加しており、その際にも花植え活動を実施している。



■活動の目的・概要

- 学習を支援する取組（各教科・放課後学習教室）、地域連携と大学連携について強化。2つを連携することで構築させ、生徒へのきめ細かな学習を展開する。
- 地域行事や地域美化活動における主体的な役割を担えるように、具体的活動目標と達成基準を設定して地域活動に参加する。
- 年2回～3回行う防災訓練（避難所受付炊き出し訓練）を通して地域の連携する力を強化する。



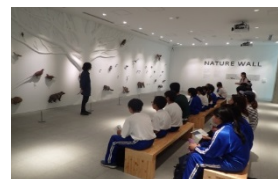
■活動の特徴・工夫

○高尾山校外学習（1年）

- ・地域の自然環境を活かした生物多様性に関する学習を推進するため、高尾599ミュージアムやビジターセンターを利用し、校外学習を実施。

本学習を実施するために作成した「高尾山フィールド調査」冊子を片手に、行きは珍しい植物について調べたり、ムササビが食べた葉っぱを見つけるなど動植物の観察、帰りは外国から観光で来られた方へミシュラン三ツ星の高尾山の魅力を伝えるため、参道の途中にある名勝を英語で紹介するカリキュラムを実施。

山頂ではビジターセンターの方から説明を聞き学習を深めている。自然豊かな八王子市の宝である高尾山の生態系を調べることや、諸外国の方々へ名勝を説明する取組みを行うことで、理科教育（ESD）、英語教育・日本の伝統であるおもてなし教育（オリンピック・パラリンピック教育）につながる効果的な学習を展開している。生徒は外国の方との交流の中で、英語が通じたときの喜びは、今後の学習につながるきっかけとなっている。



○放課後学習教室

- ・地域の方や学生サポーターに協力をいただき、放課後の学習教室を開催。前期・後期各10回程度をベースに実施している。本校教員が作成したプリントや東京ベーシック・ドリル、iPadを活用した漢検・英検に向けた学習など、一斉指導を取入れた少人数学習を展開している。

地域の方には、青少年健全育成指導員の方も含まれ、多くの生徒と触れ合うことで、成長を感じとっている。また、生徒との接点も多いことから、話をしていく中で困ったことを察知し、相談できる関係が築かれている。



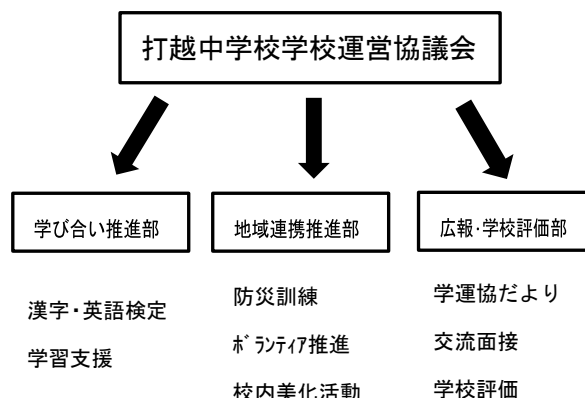
○防災訓練（避難所受付炊き出し訓練）

- ・青少年対策由井西地区委員会、PTA、GSO（おやじの会）、学校運営協議会が連携し、受付、炊き出しについて詳細に分担し、災害があった場合に備えている。



■活動の目的・概要

- 「共に学ぶ、人に優しい学校」を目指して、生徒の学習、教育環境、防災等、多方向から、生徒の活動を支え、学校、家庭、地域が協働する体制づくりを行う。
- 学校と共に、家庭、地域が連携し、学び合う学校づくりを推進する。
- 打越中学校区の小学校との連携を図る。



■活動の特徴・工夫

○地域と連携した総合防災訓練の実施

- ・これまで、各町会自治会、学校と個々に防災訓練を行ってきたが、平成30年度より、学校と地域が連携した総合防災訓練「地域と共に・打越中防災フェスタ」を実施。学校と学校運営協議会が主体となり、各町会自治会、青少対由井東地区委員会、打越中学校区の小学校、PTA、関係各機関が連携して行っている。

中学生の防災意識を高めるとともに、地域の方と一緒に訓練を行い、交流を深めることで、地域の一員であることの自覚を促し、万が一の災害時に中学生が少しでも地域の力となれるようにすることをねらいとし、この取組みを企画・実施している。



<防災訓練に参加>

○漢字・英語検定の実施

- ・学校運営協議会の主催で漢字検定、英語検定を実施している。
- また、年に1回由井第一小学校と合同で漢字検定を実施している。

○学習支援

- ・授業の学習や実技教科の実習、放課後補習の人材支援を行っている。

○ボランティア活動の推進

- ・平成29年度より、ボランティアカードを導入し、地域の行事や活動への打越中学生の積極的な参加を促している。生徒の地域貢献に対する意識も高まり、地域ボランティアへの参加も増えてきた。



<クリーン活動>

○学校環境整備

- ・学習環境の整備に向けて、PTAとも協力し、学校花壇の手入れや傷んだ教室壁面のペンキ塗りを実施。

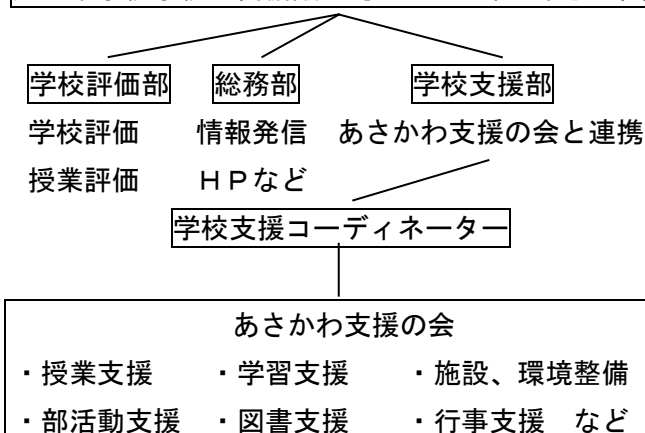
○評価活動

- ・学校生活アンケートやいじめアンケート等の各種アンケート、学校評価等を分析し、課題や成果の確認を行うことで、学校改善に向けて協議を行う。また、各学年の学力調査の結果を分析し、生徒の学力の達成状況を把握することで、課題や改善点を整理する。

■活動の目的・概要

- 学校目標の実現に向けて、地域力を学校経営に取入れ、地域との協働で子どもを育てる学校づくりを推進する。
- 学校運営に関して協議し、学校の運営、管理、改革などの審議、提案、実施を推進する。（地域住民が積極的に学校運営に関わる地域運営学校の実現を目指す。）
- 学校と地域が子どものために、ともに考え、手を携え、支援する体制を構築する。（地域力を活かし、学校支援を行う地域運営学校を目指す。）

浅川中学校学校運営協議会『まなびの杜 あさかわ』



■活動の特徴・工夫

○学校評価部

- ・学校評価部が主体で、年間2回、「学校評価アンケート」と「授業評価」を実施している。「学校評価アンケート」は、保護者、生徒、教職員、地域住民（年間1回）を対象に実施、集計し、学校運営協議会が推薦した評価委員により分析、提言を校長に行い、校長の学校経営を支援している。

○総務部

- ・学校運営協議会の活動を地域に知ってもらうため、学校運営協議会だよりの発行や学校運営協議会で協議した議事をHPへ掲載している。また、部活動支援プロジェクトとしてパンフレットを作成し、学区の小学生への配布や地域住民へのPRにも役立てている。その他にも、年間3回の小中合同のあいさつ運動や生徒会役員との懇談会等を実施している。

○学校支援部

- ・活動ごとに約60名、述べ約100名でボランティア活動を実施。学校の要望に応えるため、学校コーディネーターが中心となり活動。主な活動は以下のとおりで、幅広く活動を展開しており、これらの活動は、生徒や教職員から好評で、地域の方が毎日来校する学校の実現に寄与している。

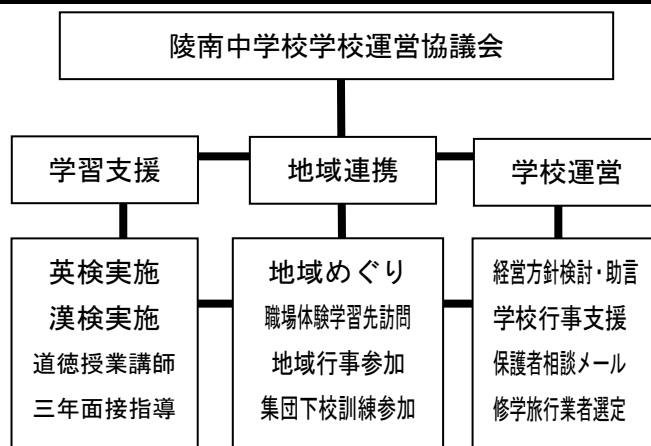
- (1) 家庭科や技術科の実習時の補助や支援
- (2) 放課後の数学と英語の学習支援
- (3) 年間2回開催する漢字検定の実施
- (4) 図書ボランティア
- (5) 学校林「栗山」の整備
- (6) 環境教育支援「林をつくるコミュニティー」
- (7) 花壇の手入れの「花のうるおいボランティア」
- (8) 行事支援ボランティア など

ボランティアの声：生徒に「ありがとう！」と言われると、やってよかったなと思います。生徒の笑顔を見ると、うれしくなり頑張ろうと思います。



■活動の目的・概要

- 教育目標の「みずから学び工夫し 思いやりの心を持ち 体を鍛える生徒」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。
- 年間11回の学校運営協議会での協議を通じ、学校と家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- 年間行動目標を「生徒が誇りに思える学校づくり」とし、学校運営協議会として協議を行う。



■活動の特徴・工夫

○三年面接指導

- ・本校では、進路の選択を目前にひかえた3年生全生徒に対し、学校運営協議会委員と教員がペアを組み、面接指導を継続して実施している。管理職による面接指導は、各中学校で一般的に実施されているが、教員以外が面接担当者となって面接を実施することは稀で、本校の学校運営協議会の活動の大きな特色の一つとなっている。手順としては、12月初旬、学年教員による面接の心得に関する指導があり、生徒は、面接に関しての事前質問用紙を記入する。それをもとに学校管理職が面接を実施し、その結果をもとに個別指導を行う。その後、年が明けた1月中旬、生徒は学校運営協議会委員を交えた面接指導に臨むこととなる。このことに関しては、以下のような効果が期待できる。
 - (1) 3年生は、教員以外の人物の面接指導を通し、より本番に近い緊張感のある面接を体験できる。
 - (2) 学校運営協議会委員が、直に生徒と対面することにより、学校状況をよりの確に把握することができる。
 - (3) 学校運営協議会委員と教員が協力して面接指導を実施することにより、双方の連携が深まり、協働で学校づくりを進めるための意識の高揚を図ることができる。
- 上記のような観点から、今後もこの取組みを継続していきたい所存である。

○職場体験学習先訪問

- ・八王子市では、主に中学2年生が市内の様々な事業所で職場体験学習を実施している。本校では例年、職場体験学習期間中、学校運営協議会委員が分担し、各事業所を訪問し、生徒の激励や事業所との連携を図っている。担当学年の教員も巡回をしているが、学校運営協議会委員が訪問することにより、生徒は活動に取組む姿勢がより向上し、各事業所から信頼を得ている。また、事業所も本校の姿勢を高く評価し、継続して生徒を受け入れてくださる要因ともなっている。



病院



スーパーマーケット



フラワーショップ

■活動の目的・概要

- 教育目標の「自ら考え責任をもって行動する人、心身ともに健康で情操豊かな人、進んで学びいつも向上を目指す人」を学校や地域の協働により達成を目指す。
- 学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- 年間行動目標を「学力向上」とし、学校運営協議会として協議を行う。

由木中学校学校運営協議会

4つの部会

広報活動	環境美化	読書活動	教育支援
地域人材の活用による 広報活動の推進	地域人材の活用による 環境整備の推進	地域人材の活用による 図書活動の推進	地域人材の活用による 学習支援の推進
広報活動 ボランティア	花壇整備 ボランティア	読書活動 ボランティア	補習学習 ボランティア

■活動の特徴・工夫

○放課後学習会（教育支援部会）

- ・平成28年度から始まった本活動は、毎週水曜日の放課後に教室を利用して生徒の勉強会を行っている。学校運営協議会を中心に教員だけでなく、学習ボランティアとして英語指導のできる地域の方に入ってもらい、英語や数学の基礎学習を中心に授業の補習や宿題などの学習サポートを行っている。参加する生徒の人数によるが1対1の個別指導で対応している。

「学習会」の名称通り、強制的な勉強会ではなく「楽しい場所と時間」となるように、生徒・教員・地域の方がコミュニケーションを取りながら活動している。



○ビブリオバトル（図書活動部会）

- ・ビブリオバトルとは決められた時間内に本を紹介し合う競技のことで、放課後の学校図書館を活用し、年間3回程度開催している。より本に親しむ態度を育て読書活動を活性化させるとともに、発表する体験を通して自分に自信をつけてもらうことを狙いとしている。

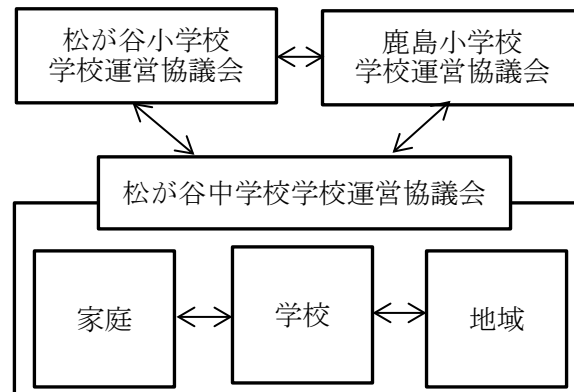
バトラー（発表者）に挑戦する生徒も、徐々に増えてきており、毎回、大いに盛り上がりを見せている。ビブリオバトルをきっかけに学校図書館に足を運んでくれる生徒も増加している。



■活動の目的・概要

○教育目標である「進んで学びよく考える人・正義を愛し心の豊かな人・体を鍛え健康な人」の達成に向けて、学校・家庭・地域の連携、協力を推進する。

1. 年間行動目標を「地域の力を活用した連携活動」とし、学校運営協議会で活動内容を検討する。
2. 小中一貫教育推進のために、3校合同学校運営協議会を実施し、地域にある幼稚園・保育園、小学校、高等学校・大学との連携活動を推進する。



■活動の特徴・工夫

○あいさつ運動

- ・本校の特色として「あいさつ」があげられ、学校を訪れた方々からは、「中学生がよくあいさつをしてくれる。」と評価をいただいている。学校運営協議会としても、この特色を生かすために、毎年11月に青少年対策松が谷地区委員会が実施している「あいさつ運度」に参加・協力している。
- 中学校では、11月を「あいさつ月間」として、「地域の中でも小学生や知っている大人の方に積極的にあいさつしよう。」をスローガンに取組みを展開している。



○あいさつ標語の募集

- ・地域の特色を生かした教育活動の展開・小中一貫教育の推進を図るため、近隣の小学校の学校運営協議会と3校合同学校運営協議会を開催している。
- そこでは、中学校の特色である「あいさつ」を生かして、あいさつのある松が谷地区にしていこうという目標として、4月に各学校で「あいさつ標語」を募集し、集まった標語の中から優秀作品を選出。青少年対策松が谷地区委員会と連携して看板を作成し、出来上がった看板は、学校の周辺や地域に掲示している。

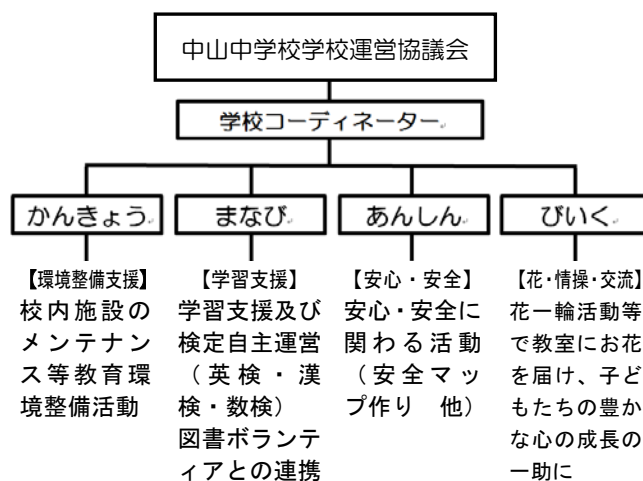


○地域人材の発掘

- ・学校運営協議会と学校コーディネーターが連携し、地域人材を発掘することで、学習支援や体験活動等をはじめとした、教育活動の充実を図っている。

■活動の目的・概要

- 中山中学校区学校運営協議会が「共に育てる」という理念で連携し、地域とつながる学校づくりを推進
- 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の活性化
- 「目指す学校」実現に向けた学校支援体制の構築
- 「地域運営学校」を基盤とした特色ある小中一貫教育の推進
- PTA 杉の沢会と連携した、生徒のより良い成長の支援



■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会の開催

- ・月1回、学校運営協議会を開催し、学期に1回3校合同学校運営協議会を開催。

○「花一輪の活動」

- ・平成25年度から花をとおして心を癒し、情操を高めて欲しいとの願いから活動を開始。月に一度、地域の方から花をいただき、各教室、職員室、保健室、校長室、応接室に花を届けている。

○「地域交流講座」

- ・様々な技能を持った地域の方々を講師としてお招きし、和太鼓、トールペイント、おもちゃ工作、万華鏡作り、光ファイバーなど約20講座を開設。生徒全員が選択した講座ごとに体験的な学習に取り組む場を提供している。

○地域と連携した「総合防災訓練」の実施

- ・これまで、生徒ボランティアが参加していた地域の「総合防災訓練」に平成29年度から学校運営協議会の協力により、全校生徒で参加。学校の防災訓練後に、地域の防災訓練に合流して地域の方とともに訓練に取り組んでいる。



地域と連携した総合防災訓練

○その他

- ・「英語検定」「漢字検定」の自主運営
- ・1年生飯盒すいさんへの支援
- ・学校運営協議会リーフレットの作成
- ・市制100周年記念植樹



1年生飯盒すいさん



新しく作成したリーフレット（左：表面、右：中面）



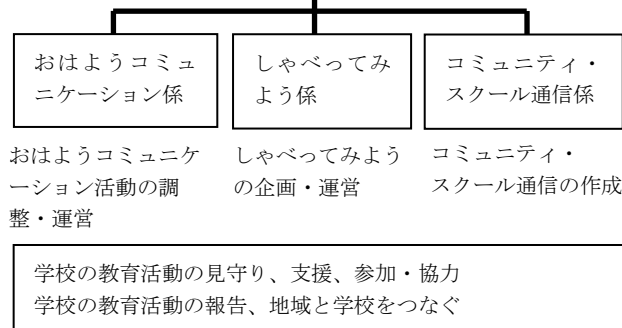
市制100周年記念植樹

■活動の目的・概要

○目標：地域の力を生かした学校づくり

- ・地域の学校としての南大沢中学校づくりを進める。
- ・学校運営協議会の活動を学校教育に生かす。
- ・学校ボランティアや学校サポーター、学生ボランティア等の人材を確保する。

南大沢中学校学校運営協議会



■活動の特徴・工夫

○学校運営協議会の開催

- ・月1回 18時30分から19時30分で開催。(年10回開催)

○活動内容

- ・おはこみ、しゃべってみよう、コミュニティ・スクール通信

学校と地域、地域住民どうしのつながりを深めるため「おはこみ」(おはようコミュニケーション)を行う日を設け、校門周辺に生徒が立ち、学校の前を通る方たちにあいさつ運動を行う。また、生徒、教職員、地域住民の交流会「しゃべってみよう」を開催し、地域と学校がつながる場を設けている。

コミュニティ・スクール通信は南大沢小、柏木小、南大沢中合同で作成していて、南大沢中学校区の地域の方に様々な情報を発信している。

- ・声楽鑑賞教室、キャリア教育講演会の実施

学校運営協議会の主催で、5人のプロの歌手を招き、オペラや合唱曲など多くの曲を鑑賞する「声楽鑑賞教室」を実施。毎年10月の土曜日の学校公開日に開催しており、本校生徒だけでなく保護者・地域にも案内を配布し、地域に開かれた形として行うことで、多くの地域の方に学校を見てもらう機会とするとともに、地域と一体になった教育を推進するきっかけとしている。



おはようコミュニケーション



しゃべってみよう



声楽鑑賞教室

○活動の特徴

- ・各係は3校(南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校)の学校運営協議会で共通して設け、連携して活動を行っている。
- ・3校合同(南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校)の学校運営協議会を定期的で開催している。

■活動の目的・概要

○地域運営学校として、地域と学校の連携を強め、地域の中で子どもたちを育てる。

- (1) 学校の諸活動に対して、保護者・地域の方の協力体制を築く。
- (2) 地域行事に対して、中学生として積極的に参加させる。
- (3) 学校を通して、地域の活性化を図る。

○本校では、様々な活動を、学校運営協議会、宮上中PTA、青少年対策宮上地区委員会と連携して実施している。学校運営協議会では、主に学校行事や活動内容について協議し、それぞれの担当が実際に動く組織とつなげるという形をとっており、学校運営協議会が学校と地域を結ぶ役割を果たしてきている。

■活動の特徴・工夫

○土曜学習教室

- ・平成26年度から実施。
- ・定期考査準備期間の土曜日午前中に教室を開放して学習教室を運営。
- ・生徒は、自主的に出席するかどうかを届け出る。
- ・教室の運営は、PTA学習支援部が行っている。
- ・毎回3～6名の学生ボランティアが学習補助を行っている。



- ・平成29年度から、学習が遅れている生徒対象の土曜補習教室に教員のサポートとして、玉川大学大学院の学生に協力をいただいている。

地域の大学生ボランティアや日常的に本校に来ている学生ボランティア、教職大学院で学んでいて本校で実習を予定している方に来ていただいている。

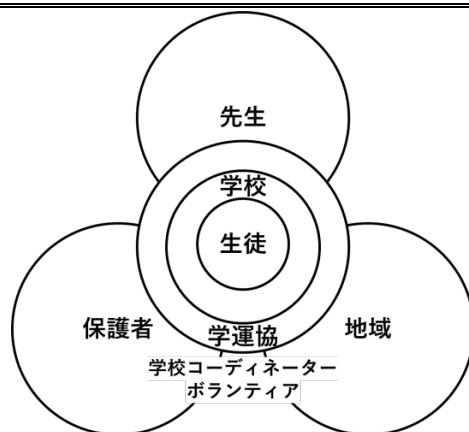
○その他の活動

- ・英検、漢検を学校にて実施（PTA学習支援部と連携）
- ・移動教室、修学旅行のプレゼンと業者選定
- ・学区小学校（宮上小、下柚木小）学校運営協議会との合同熟議（年3回）など
- ・学校博物館「みやかみミュージアム」の運営

生徒や地域の方が作成した作品を常設展示する場所を開設し、保護者や地域の方が交流できる地域のコミュニティルームとして運営。

■活動の目的・概要

- 学校運営協議会は地域で学校を応援するものと捉え、保護者や地域の方々、先生方の意見を聞きながら連携し、生徒たちがすこやかに成長できるよう、生徒のための学校運営をサポートし、見守っていきたいと考え活動している。
- PTA、青少年対策地区委員会、学校コーディネーターなどと連携するだけでなく、大学生、地域の学習ボランティアや卒業生保護者の力も借り、小中一貫教育で連携する小学校2校の学校運営協議会とも合同の協議会を開催するなど、関係者を広く巻き込んで活動している。



■活動の特徴・工夫

○ 夏休み・冬休み等学習教室開催

- ・学校運営協議会主催で、大学生や地域の学習ボランティアを中心に、先生方の協力を得ながら、生徒が長期休業の宿題に取り組む環境を、学校図書館で設けている。学習教室への参加が定着してきた。



夏休み・冬休み等学習教室

○ 英語検定、漢字検定準会場の実施と英検学習教室開催

- ・学校運営協議会が各検定協会に登録し、年2回ずつ、先生方の協力の下、案内配布から集金、検定実施まで担当する。検定を実施することで、生徒の学習意欲を高め、先生方の負担低減にも繋がっている。また、学習ボランティアと先生方とに協力いただき、生徒が英検の学習、面接練習に取り組む環境を放課後に提供している。案内を全校生徒に配布し、保護者にメールでお知らせすることで、受検者数も合格者数も増加している。



英検学習教室

○ 卒業生保護者への支援依頼『上中サポーターズクラブ』

- ・卒業生保護者に、学校運営協議会が新設した『上中サポーターズクラブ』への登録をお願いし、検定の会場設営等に協力を依頼している。今後、『上中サポーターズクラブ』の活動の幅を広げ、充実させていく。

○ 防災教育外部講師による講演

- ・地域防災にも携わられている首都大学東京の教授を講師として招聘し、全校生徒に対し防災授業を年1回実施している。生徒の「自分で考える防災」を中心に自助・地域との共助の意識が高まっている。



防災授業

○ 学校運営協議会だより「たぶの樹」発行

- ・校樹タブノキの名前を冠したお便りを不定期で発行し、保護者や地域の方々に学校運営協議会の活動を周知し、情報共有を図っている。

■活動の目的・概要

＜活動方針＞

- 地域の子どもである松木中学校の生徒を、学校運営協議会を中心に、PTA・おやじの会・青少年対策委員会・教職員・地域のNPO法人等の各種団体との連携を強化し、地域ぐるみで育てていく。
- 松木小学校・長池小学校・松木中学校3校の教科指導、児童・生徒理解、学校行事、特別支援教育など教育活動全般にわたり連携を一層強力に推進し、3校の教育活動の活性化を図る。
- 地域に開かれた教育拠点としての役割を果たす。

松木中学校学校運営協議会

学校コーディネーター

学習支援部

地域連携部

評価部

広報部

- 協議会内に「学習支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木小、長池小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開。

■活動の特徴・工夫

○浄瑠璃祭り

- ・地域の子どもたちにふるさとを作りたい…。そんな思いから地域連携部会が中心となり、青少対地区委員会とも共催で平成24年度から、松木中学校を会場にお祭りを始めた。三校のPTAやおやじの会、松木中学校生徒のほか、地域住民や団体からも参加を募り、体育館でのステージ発表、校庭での模擬店やパフォーマンス、警察や消防からの啓発活動や車両展示・体験など盛りだくさんの内容が繰り広げられ、毎年、参加者が2,000名を超える地域行事となっている。



○英語検定・漢字検定・数学検定

- ・子どもたちの学習意欲を高めることは喫緊の課題であり、努力により少しずつ級が上がる喜びと達成感、そして受験にも役立つこれらの検定を、学習支援部会がサポートしている。各検定とも年間2回ずつ学校を準会場として実施し、募集案内、集金、スタッフ募集等の業務一切を行っている。

英検では3級以上の1次合格者に対して2次面接対策の勉強会も先生方にも協力いただきながら実施している。

◇◇◇今後の予定◇◇◇			
8月27日(土)	第1回数学検定	※申込みは終了しています。	
10月7日(金)	第2回英語検定	} 2学期おたより配布です。	
10月21日(金)	第2回漢字検定		
12月3日(土)	第1回数学検定		

○夏休み・放課後学習教室

- ・3年生の生徒を対象に、基礎的・基本的事項の復習と徹底的な習得を目的に、希望進路の実現も視野に入れながら学習支援部会が実施。夏休みは7月中に10日間前後、放課後は9月末～2月の間に毎週2回、5教科の学習を行っている。学校の授業の補習等ではなく、独立した活動であり、講師は学校勤務の東京都時間講師などを「地域支援スタッフ」として迎え、謝金を支払っている。参加生徒は例年約25名程度で有料の参加で行っている。

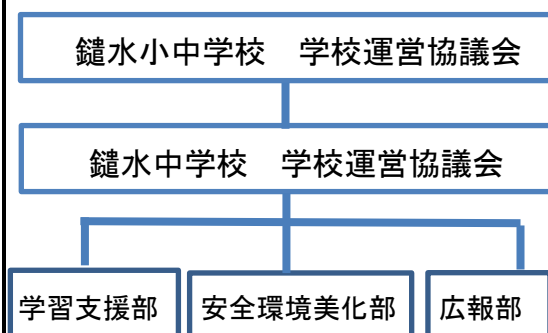


- その他の活動として、教職員面接や学校運営協議会だよりの発行等を実施。

■活動の目的・概要

○学校・保護者・地域が協働して、教育目標「すすんで学び向上をめざす人（自学）共に助けあう思いやりのある人（共生）心身を鍛え最後までやり遂げる人（自立）」の実現を目指すとともに、ふるさと鍵水（八王子）を愛する子どもを育てる。

- 1 学校運営協議会は、学力向上、子どもの安全確保、学校・地域の環境美化・地域防災という3つの学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。
- 2 学校運営協議会は保護者・地域住民に活動を公表し、支援者の一層の拡大を図り、生徒会の自治活動とも連携し、地域で生徒の生きる力を育てる。



■活動の特徴・工夫

○補習教室の充実

- ・学習サポートスタッフを募集して、定期考査間の一週間、数学と英語の補習を行い、学習支援の充実を図る。

○漢字検定・英語検定の実施

- ・学習サポートスタッフが監督者となり、学校を会場とした漢字検定・英語検定を実施。基礎学力の定着を図る。

○学校支援基金（やりみずっ子基金）の設立

- ・学校支援活動資金を得るため、生徒会と連携してアルミ缶の回収活動を実施。

○地域清掃・落ち葉掃き清掃

- ・学校運営協議会と生徒会・美化委員会が連携して、ボランティアの生徒を募集し、地域清掃、落ち葉掃き清掃を実施。地域の一員として、地域環境の整備に取り組む。

○花いっぱい学校づくり

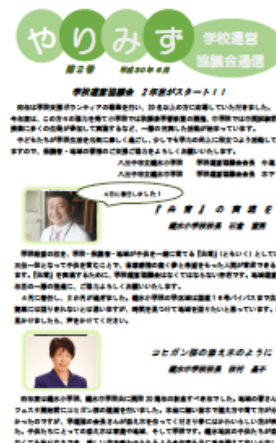
- ・学校運営協議会とPTAや青少対、生徒ボランティアが連携し校舎前の花壇の整備や植栽活動を実施。学校環境の整備を図る。

○学校運営協議会通信やりみずの発行

- ・鍵水小学校の学校運営協議会とともに、広報活動を一本化し、学習支援部や安全環境美化部の具体的活動の様子や成果などを「学校運営協議会通信やりみず」にまとめて発行している。



補習教室



「学校運営協議会通信やりみず」



やりみずっ子基金のアルミ缶



花植え活動



落ち葉掃き

あなたのみちを、
あるけるまち。

